

軍事語

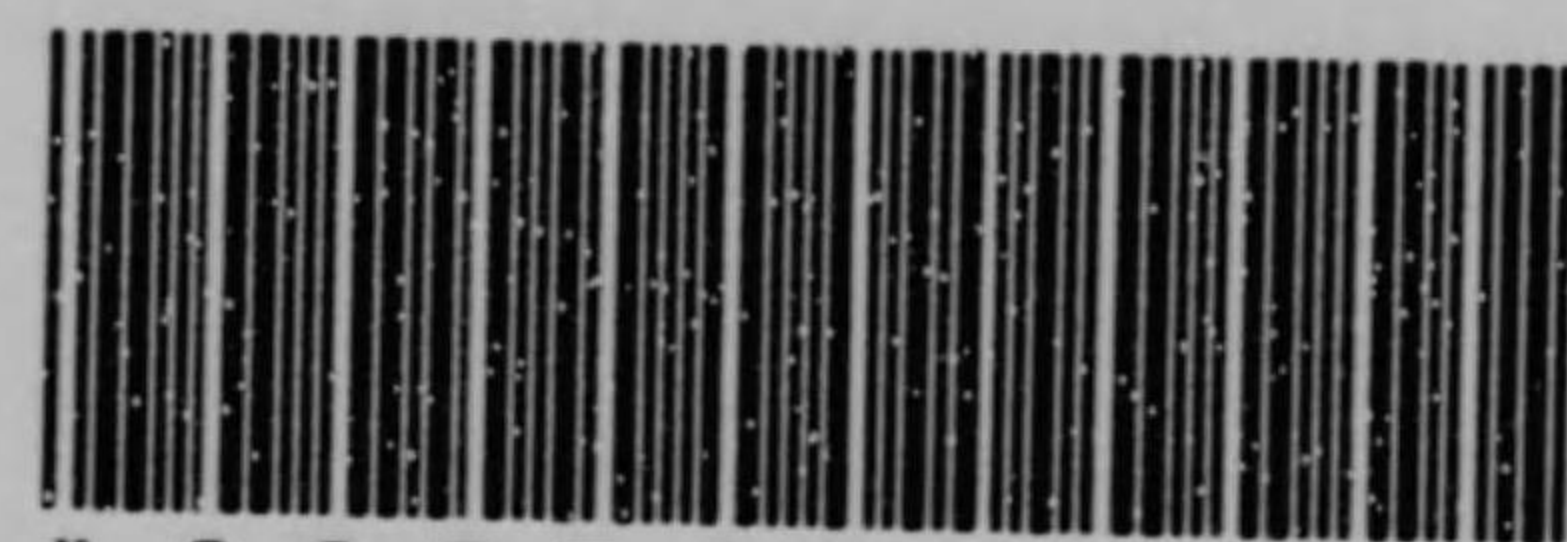
華語篇

第一卷

陸軍大學校將校集會所

特202

720



* 0055622000 *

0055622-000

特202-720

軍事語学

陸軍大學校將校集會所・著

雄風館書房

華語篇 第1卷

昭和18

AJA

特 202
720

當今一般に外國語の修習を輕視せんとする趨勢に在るも皇國か世界の指導的地位を占むるに伴ひ本校學生の如きは將來の職責に鑑み寧ろ大に外國語の素養を切要とす

右見地に基き昨年十二月入校學生の再審試験には語學優秀者發見の目的を以て全く奇襲的に筆記試験を行ひ八名の優秀者を獲しか學校としては成るべく近き將來に於て語學を試験課目中に入れられんことを希望しあり之か爲先づ語學參考書の普及急務なるを認め本校語學教官に委囑し不取敢本書を編纂希望者に頗ち爾後毎年一回初審試験の頃を期し續いて發行の豫定なり青年將校有志の活用を薦む

昭和十八年三月

陸軍大學校將校集會所



例言

一 白話篇に在りては學習期間の短縮されし者の便を計り、頭初の約二十篇は一般淺近なる短章を採擇し常用語型の把握に習熟せしめたり。

一 戰場に在りては字典を携帶しあらざるを顧慮し、發音稍々難なりと思惟される語句、或は特に變音異聲のあるものにウエード式ローマ字を以て其發音及四聲を示し置けり。但し普通なる語句は概ね本來のものを記しあれば變化のある場合はその夫々の原則に従つて發音する事勿論なり。例へば

打盹兒 ta³ tun³ erh¹ と示しあるも、これは變化の原則に従つて ta² tu³ rh¹ と發するが如きこれなり。

一 發音四聲は北京語を標準とせり、その破音亦北京人教官の説に隨ひたり。

第一編 白話の部

1 你把話聽錯了，我說今天不能去明天再去；並不是今天不去從此就不去了。

【語釋】

不 動詞、形容詞には直接冠し絶對の否定にして意義強し。時間の關係は現在、未來を示す。過去には「沒」を用ふ。

再 再び、又更にの意。未來に用ふ。現在、過去には「又」。

去 目的地のある場合に用ふ、目的地に行く。「走」は出發點より出かける、

並 不 決して……のわけではないのだがと稍々辯解がましき口調あり。「決不……」の「決して……」にあらずに比して弱し。

從 此 (副詞) 〓 從今。今から、これから。

【譯文】

君は話を聞き違へてゐる僕は今日には行かれないから明日行くと云つたので決して今日行かなければ今後行かぬと云つたわけではないのだ。

2 我一看見這些筷子、碟子，就越發覺得肚子餓了。

【語釋】

一・就（熟語）「一」元來數詞なるも副詞として出發し下の接續詞「就」と相關聯して再び連鎖の接續詞として一熟語を形成す。意義は因果關係の甚だ逼迫せるを示すものあり即ち「一度……するや即ち」と解す。

看見 見た、見る。凡そ五感に訴ふる語に「見」字の添はれたる場合には過去完了として尠くとも現在完了として譯出するを妥當とする。例「遇見（遇つた）、聽見（聞いた）、碰見（出くはした）、夢見（夢見た）、瞥見（ちらつと見た）、稟見（面會した）」等等。這些些かに非らず複數を示す。

筷子 k'uai 4 tzu 1 古語は日本語の「箸」と同じ。其音 Chu の「住」に通ひ、止まる、

停滯する意あるを忌み「快」字をあてはめて縁起を擔ぎたるなり。

越發（接續詞） 一層、益々。

【參考】 「越發」の熟字は一つにて濟むも、「越」は必ず「越・越・」と並列累加する。

碟子 tieh 2 tzu 1 小皿。

肚子 tu 4 tzu 1 腹（人の）。

【參考】 tu 3 tu 1 腸（魚の）となる、發音に注意を要す。

【譯文】

私は箸や皿を見たら益々空腹を感じた。

3 昨夜因爲睡的太晚，所以今天沒有一點兒精神，光想着打盹兒。

【語釋】

晚 「早」に對するもの、「早晚」は時間に用ひ「快慢」は動作に用ふ。
精神 多くは元氣と譯出する方反つてよろし。

光 名詞より轉じて副詞となれるものにて「何もなき」事を意味す依りて「只だ……ばかり」と解す。

想着 想ひつゞける、忘れずに……する。

打盹兒 *da3 tun3 er1* 冲盹兒。居睡りをする。

【譯文】

昨夜寝たのが非常に遅かつたので今日は少しも元気がなく只だ居睡りばかりしやうとしてゐる。

【參考】

學生の答案を検するに本題中の副詞「光」の如き他品詞より轉じたるものは往々にして答解不能なるを見る。特に聽記問題にありては「一」の如き極めて容易なる語も聽取し能はざるあり。凡そ一字の副詞は極めて困難なれば平素より常用語には相當注意を要す。今他品詞より轉じたるもののみを二三例示して參考となさん。

- 一、名詞より轉じたるもの
- 「所」まるで、全然。

二、形容詞より轉じたるもの

「白」徒らに、空しく。 「直」丸で。

「老」常に、久しく、いつまでも。

三、動詞より轉じたるもの

「極」極めて、極く。 「怪」大層、大變。

「頂」極、はなはだ。 「準」必ず。

「看」みすみす。 「倒」寧ろ、反つて。

「總」要するに。

四、數詞より轉じたるもの

「一」一度、一寸。

4 旁的毛病都可將就，惟獨手不穩，這是沒法子將就的。

【語釋】

旁的 p'ang² tai¹ 別的。他の、別の。

毛病 缺點 惡習。

可 推量を示す助動詞と見る可し。

將就(動詞) 我慢する、間に合はせる。

惟獨 wei² tu² (副詞) 惟だ獨り、唯だ。

手不穩 shou³ pu⁴ wên³ 手穩かならず、手癖が悪い(盜癖を指す)。

沒法子 方法なし、仕方なし。

【参考】「法子」二聲、「方法」三聲、「法律、法國」四聲。

是：的「的」にて結んで名詞句となし「是」に關係を持たすもの。

【譯文】

他の缺點ならそれはまあ我慢もするが唯だ手癖の悪いのは何とも辛棒する道がない。

5 我病了剛纔起來，身上一點兒力氣沒有，好歹扎掙着纔走了去了。

【語釋】

起來 横なるを起こす意、狹義には起床の意に用ふ。

【参考】其他動作の開始、生長するの意あり。

力氣 氣力、元氣。

好歹 hao³ tai³ (副詞) 好かれ悪かれ、兎に角。

扎掙着 cha² cheng⁴ cho¹ 我慢して、押して(肉體的に)。動詞「扎掙」に進行形を示す

助動詞「着」の附加され其儘の形にて副詞として用ひられたるなり。

走了去了 「走」出發點より、「去」目的地を指して。

【譯文】

私は病氣してやつと離床したばかりで身體に少しも氣力がありませんが兎に角押して出掛けました。

6 若是到了人地兩生的地方兒，輕易遇不見個知心的人，一旦遇見的時候，心裏

必加倍的親熱。

【語釋】

人地兩生 土地は不案内、人は未知なるを云ふ。

【参考】「生」の反対は「熟」なり。例「生人、生炭」未知の人、黒炭。「熟人、熟炭」熟知の人、火のよかついた炭。

輕易 ching 1 i 4 (副詞) 軽々しく、滅多に。

知心的人 氣心の合ふ人、知己、心友。

【参考】諺に「知人、知面、不知心。」とあり。

遇不見 遇はない。

【参考】人に遇ふは「見」、物を見るは「看」なり。

加倍 chia 1 pei 4 倍加する。

【譯文】

若し縁も縁りもない土地へ行くと滅多に氣の合ふ人には遇へないが一旦遇つたら心に必ずや一層の親密さを加へる。

7 像他那樣兒的聰明，別說他還歷練過，即便沒歷練過，管保也辦不錯。

【語釋】

像 (前置詞) の如き。

別說 云ふ勿れ、云ふ迄もなく、……であるは勿論。

歷練過 li 1 lien 4 kno 4 経験のある、練習した。「過」會驗過去を示す助動詞。

即便 (副詞) よしんば、たとひ……でも。

管保 保證する、請合ふ。

辦不錯 うまくやる、違はぬやうにやる。

【譯文】

彼の如くあの様な聰明さは矢張り経験からなるは勿論だが、よしんば経験が無いにしても亦巧

くやるに違ひない。

8 富貴家の人、動不動兒就愛耍脾氣，這個也不是，那個也不好，這全是有錢的壞處啊。

【語釋】

動不動兒 (副副) 輒(やゝ)もすれば。兎角。

愛耍脾氣 ai 4 shua 3 pi 2 ch'i 4 愛使性子 愛發牢騷。「愛」(助動詞)……したがるの意を含む。「耍」(動詞)弄する、楽しむ、戯る。「脾氣」性癖、癩癪。氣儘をしたがる、短氣を起しやすし。

壞處 huai 4 ch'u 4 損處 短處 不好的地方。

【譯文】

金満家はともすると氣儘氣隨をやりがりこれもいかん、あれもいかんと云ふこれは全く金持の缺點である。

9 天時は無定的，早滂是常有的；當那有吃有穿的時候，不知儉省，一旦遇了荒年，你們都怎麼過呢？

【語釋】

天時 天候、氣候。

早滂 han 4 lao 4 早魃と水害。

吃的穿的 動詞に「的」の添ひたるは名詞に變ず。食べ物、着る物。

【參考】 頸より以下に着用するものは總べて「穿」を以てし、頸より上には「戴」を用ふ。例「戴嘴套」マスクをかける。「穿褲子」袴下を着る。

當 tang 1 當りて。

【參考】 當字一聲あたる。三聲思ふ。四聲質入れ。

儉省 chien 3 sheng 3 儉約する、節約する。

一旦 一旦。

荒年 luang 1 nien 2 凶年。

【譯文】

天候は定めなく旱魃水害は有りがちなものである。食ふもの着る物がある時に儉約して置かぬと一旦凶年に遭つたら諸君は一體どうして暮すつもりか。

- 10 自己果然和氣待人，那不和氣的，也就跟着你學和氣了；果然公平處事，那不公平的，也就跟着學公平了。

【語釋】

果然 果して、若し。

和氣 ho 2 ch'it 溫和な心、穩やか。

待人 tai 4 jien 2 人をもてなす。

的 t'it 1 (助詞) 「的」の下に名詞の略されある場合には常に「人、物、事」の三字いづれかを挿入して譯出するを便とす。

也就 (接續詞) 矢張り。

跟着 隨ひて、ついで。

【參考】「著」(動詞)(正)「着」ch'it (俗)一聲現在進行形助字。二聲 ch'it (動詞)着ける。處事 事を處理する。

【參考】「處」三聲有氣(動詞)。四聲有氣(名詞)。

【譯文】

自身が若し穩やかに人を遇したならば氣が荒い人も矢張り君から穩かな處を見習ふし君が若し公平に物事を處理したら不公平な人も自然に公平な事を見習ふであらう。

- 11 你這個人實在拉忽，借了人的傢伙永遠不還，就算是丟不了，也怕就誤人家用。

【語釋】

你這個人 貴様、此奴。(罵人的話)。

拉忽 la 1 hu 1 猜す、横着な。

傢伙 chia 1 huo 3 家具、道具。

不還 pu 4 huan 2 (動詞) 返還しない。

就算是 假りに…であつても。

丟不了 tui 1 pu 4 liao 3 「丟」失ふ、なくす。「不了」目的物の價值、數量、實質の過多、

過大、過難にして果し難きを示す。

【參考】(辭源)「俗作丟。一去不還也。故俗謂遺失物件曰丟。」

耽誤 tan 1 wu 4 ひまどる、妨げる、支障をきたす。

人家 人、他人、第三者、敵。

【譯文】

貴様と云ふ奴は實に横着だ、人の物を借りたが最後返さないなんて假りに失くなさないまでも人が使ふ妨げになるぢやないか。

12 倘若用機器屙水，農人就省力了。但是機器價錢貴，農人大都買不起，所以只得自己來幹，至多叫牛幫幫忙。

【語釋】

倘若 tang 3 yao 4 若しも。

屙水 hu 4 shui 3 水を灌溉する。

省力 sheng 3 li 4 力が省ける。

大都 大半都是。大部分。

買不起「不起」力量、資力の不足を示す不可能の助動詞。

只得 止むなく。

至多 多くとも、精々。

叫・幫忙 ……をして手傳はしむ。「叫」使役の助動詞なり。

【譯文】

若し機械で灌溉するならば農夫は助かるのだが機械は値段が張るので百姓の大半は買へない、それで止むを得ず自分でやるか精々牛を手傳はすのだ。

13 念書雖然是好事，也得看人的天分如何，與其學而不成任甚麼不會做，還不如早早兒的退學做莊稼。

【語釋】

看 k'an 依る、…によりきりである。

【參考】「看」一聲看守。四聲、看る、思ふ。

天分 天分、資質、素質。「分」(名詞) 四聲。(動詞) 一聲。

與其…不如(熟語)…せんよりは…するに如かず。

任甚麼 何でも、何すらも。

會 可能を示す助動詞。

【參考】事の意外を示す例「他會死了」(彼か死んだつて！)。

莊稼 chuang 1 chin 4 農作物を云ふも、「做」あるに依り百姓をする、農耕をやると解す。

【參考】「大莊稼」玉蜀黍、粟、高粱。「莊稼地」耕作地。「莊稼漢」農夫。

【譯文】

勉強する事は結構だが亦人の天分如何にも依らねばならない。習つても何一つ出来ない位ならば早速學校を退いて百姓をした方がまだましである。

14 他執着鉛筆慢慢地抄寫表解，眼光從黑板上移到筆記簿上，又從筆記簿上移到黑板上；比較我們上課怕要專心得多呢！

【語釋】

慢慢地 靜かに、徐々に。

【參考】

文學革命後白話に就て種々新しい試みが行はれた。この「地」もその一つである。北京語では一切「的」で表はしてゐたが、現在では副詞には「地」を形容詞には「底」を以

て區分して居るものもある。但し目下は混沌たるものである。

抄寫 「抄」書き寫す、抄する意にして手本の通りに拔書きするを云ふ。

【参考】「寫」亦書く意にして寫す意無し。「謄」は引寫すなり。

眼光 物を見る眼、着眼。

黑板 黑板。

筆記簿 pi 3 chi 4 pu 4 ノート、筆記帳。

上課 授業の始まるを云ふ、終りは「下課」。

怕 純粹の動詞なるも副詞的に「恐らく」と譯出する方反つて可。「恐怕」は副詞なり。

專心得多 專心なる事數等優れり。「得」は專心なる情態を形はす助詞。「多」は程度を示す副詞。

呢 文尾の助詞なるも疑問ではない、自分で決斷し確定たらしむるために擱いたもの。

【参考】本來「呢」は名詞としてはラシヤ(毛織物)の意、二聲に發す。例「呢帽」中折帽。

【譯文】

彼は鉛筆を執つて靜かに表解を筆記した。眼は黑板からノートへと移り又更にノートから黑板へと移し、吾々の授業の時より遙かに熱心だ。

15 我覺着渾身發燒，就像火烤的一樣；又搭上鬧耳朵底子，疼得連顫幫子都腫了。

【語釋】

渾身 hun 2 shên 1 全身。

發燒 發熱。

像……一樣(熟語)……の如く一樣。……と同様。

火烤 huó 3 kǎo 3 火のついたやうに。

又搭上 又加上 又搭着(接續詞)。其上、それに加へて。

耳朵底子 耳下腺炎、中耳炎。

疼得 tēng 2 ta 1 「得」状態を示す助動詞。

連：都(熟語)……すらも總て……。

願幫子 sui 1 pang 1 tzu 1 腮、頰。

【譯文】

私は全身發熱を感じ、まるで火の着いたやうである。そこへ持つて来て中耳炎をやつたのだから痛くて頰がすつかり腫れてしまつた。

16 天下的事情不可逆料，今日看着是福，未必不是後日的禍，今日看着是禍，未必不是後日的福，所以只得聽天由命就是了。

【語釋】

逆料 ni 4 liao 4 豫めはかる、豫測する。

看着 現在分詞の型其儘で副詞として譯出する、見たところ。
未必 必然 不必 (但し不必の方意強し) 必ずしも然らず。
只得 只好。止むを得ず只……するより外はない。

聽天由命 聽天命。天命に任ず。

就是了 文尾に置かれて投出す語氣あり。……のみ。

【譯文】

世の中の事は豫測されぬものである、今日見たところ幸福だからとて必ずしも將來不幸でないとは限らないし、今日不幸だからとて必ずしも將來幸福でないとは限らない、故に天命に順應するより仕方がない。

17 大概不能是遭了事情，必是路上被風雨杜住了；或者家裏偶然有事，沒能按着時候起身，也未可知。

【語釋】

遭 tsao 1 めぐり合はす。

路上 途中。

被 pei 4 ……(受身の前置詞)……の爲めに……せられる。

杜住 tu 4 chu 4 杜絶する、障げられる。

【参考】「住」(助動詞) 膠着する意を示す。

或者(接續詞) 或は、又は、恐らくは……かもしれぬ。
偶然 ou 3 jian 2 偶然、たまたま、思ひがけなくも。

【参考】凡そ、「然、乎」を連れたものは後世文章より移されたるものなり。

按着時候 「按」適合する、照すの意。時間通りに。
起身 身 動身 走。出發、出かける。
未可知……かも知れない。

【譯文】

多分事故が起つたのではなからう。吃度途中で風雨に阻められたか、それとも家で思ひがけない用事が出来て、時間通りに立てなかつたのかも知れない。

18 若是要臉的人有了錯處，縱然人家不說他，他也很覺慚愧；若是不要臉的人有

了錯處，縱然人家說他，他也不知羞耻。

【語釋】

要臉的人 面目を重んずる人、名譽を重んずる人。

【参考】「臉」北京語は顔の意、南方にては「面孔」。

錯處 過失、あやまち。

縱然 縱へ、たとへ、よしんば。

說他 直接に「說」の來たる場合は、意見する、忠告する、叱る。

慚愧 ts'an 2 k'uei 4 耻づる、慚愧。

羞耻 tsin 1 ch'ih 3 耻辱とする、羞耻。

【譯文】

若しも面目を重んずる人が過失したとしても假令人が忠告しなくても彼自身慚愧を感じるであらうが若し名譽を重んじない人が過失を冒したとして縱へ人が忠告しやうと彼自身羞耻を感じ

ないであらう。

19 他雖然長了十五歲，和你比起來還是個孩子，你好動手打他麼？ 再者說打狗看主人，他就是得罪你，你也該告訴我，我給你出氣，你該自己打他這麼個樣子麼？

【語釋】

長了 *chang 3 la 1* 成長する。

【參考】 形容詞二聲有氣音。動詞三聲無氣音。

比起來 起來は動作の開始を示す。

好||可以 よろしい。

動手他打 手を上げて彼を打つ。

再者 *tsai 4 ché 3* 更に、其上。

【參考】 (書翰文用語) 追て。

打狗看主人(諺語) 「犬を打つにも主人の顔色を窺ふ」遠慮氣兼ねする意。

就是 よしんば、譬へ。

得罪 罪を得る、粗相をする、失禮する。

【參考】 得一聲 *ts* 助詞。二聲 *ts* 動詞。三聲 *ts* 動詞||要。助動詞||要。三聲 *ts* 動詞。逮捕する。

出氣 叱る、怒る。

【譯文】

彼は十五歳になつたと云つてもお前と較べてみるとまだまだ子供だのに擲ぐると云ふ法があるか、それに犬を擲ぐるにしてもその主人の顔色を見ると云はれてる位だ彼が譬へお前に無禮の事をした處でお前は私に云つてくれるなら私が叱つて置くのにお前が自分で直接そんな風に擲ぐる事があるものか。

20 你不聽勸，我也不能逼着你聽，但是有一件，以後你吃虧的時候，可不要來找

我。

【語釋】

不聽勸 pu 4 ting 1 oh'uan 4 勸告を聽入れない。

逼着 pi 1 oho 1 副詞的に譯出して、強いて、強制して、無理矢理に。

吃虧 ch'ih 1 k'uei 1 損をする(經濟的に)、病氣になる(肉體的に)。

找 chao 3 探す、求める、訪ねる、釣銭をとる。

【譯文】

君が勸告を入れないのなら、僕も亦強いて君に説得しないが但し一つ云つて置くが、將來君が失敗した場合には決して僕を頼らない様にしてくれ。

21 不拘誰託一件事，他不應就罷，他若是點了頭，必要替你盡力的辦，不成不肯歇手。

【語釋】

不拘 pu 1 chü 1 ……に拘はらず、…構はない。

不應 應諾しない。「應」四聲。

就罷 即ち罷む。「罷」動詞四聲に發す。

點頭 うなづく、承諾する。

必要 必得 必須。必ず…要す。

替你 代替你 幫助你。君に替つて、「替」(前置助詞)。

【參考】 支那人は「替」を可なり強く發しあるに注意。

不成 成一字にて成功するの意あり。

歇手 tsieh 1 shou 3 手を歇める。「歇」手を休む意従つて睡眠するの意あり。

【譯文】

誰が用件を頼むにしても彼が應じなかつたらそれでおしまひだが、彼がもし承諾したならば必ず君の爲めに熱心に盡力して成しとげなければ止めないであらう。

22 今天本市開辦廣播電台，也就是關於文化事業設備的一個例子，可見得皇軍出兵的用意，無微不至了。

【語釋】

廣播電台 Kuang³ po⁴ tien⁴ t'ai² 放送局。

關於……に關し。

【參考】

關於、對於」の構文は日本現代文の影響なり。

一個例子 一例。

可見得……の事が分る。

無微不至 wu² wei¹ pu⁴ chih⁴ 微として至らざるなし、極めて微細な事迄氣がつく。

【譯文】

今日本市に放送局の開設を見たのも是又文化事業設備に關する一例である。これに依りても皇軍の出兵の用意が誠に周到なる事が判るであらう。

23 自己不求能力，凡事都不肯去努力幹，一個做不到，就推在沒運氣上，那可就
把運氣倆字的意義錯會了意了。

【語釋】

不肯幹 爲すを肯んぜず、爲さうとしない。「幹」事をよくする意。

做不到 「到」間に合ふ、到るの意を示す。爲し得ない。

推 t'ui¹ (動詞) 推す、究む、推察する。

運氣 yin⁴ chi⁴ 運勢、運命。

【參考】 名詞の上の「沒」は常に「沒有」なり。

那可就 那就と可就と合したるもの。それこそ。

錯會了意了 考ひ違ひ、想ひ違ひ 錯誤。

【譯文】

躬ら能力を求めず萬事努力して爲さうとせず、一つつまづくとそれを不運とするそれこそ運氣

二字の意義を誤會せるものである。

24 本來中日兩國文化的連絡，固然早已開端了，如思想如教育，在所謂真正精神文化上，那尤其脈絡相通，以支配今日我們兩國之最大的要素啊。

【語釋】

固然 固より、無論。「固然」は概ね下句に反對の意來る。

早已 早くに、夙に。

開端 開始。

所謂 いはゆる。

尤其 *yu 2 ch'i 2* 就中。

脈絡相通 *mo 4 lo 4 hsiang 1 t'ung 1* 脈絡相通す、系統の相通じある。

【譯文】

本來日支兩國文化の連絡は夙に開かれてゐたのである。思想の如き、教育の如き所謂眞の精神

文化方面に於てはそれは就中脈絡相通するものがあつて今日吾々兩國を支配する最大要素となつてゐるのである。

25 南京陥落了，中國人所說的王道樂土現出來了。中日如兄弟共建東亞和平。惡魔的蔣政權，已經成了一句過去的口頭禪了。老百姓的幸福，以後一天比一天享受得多了。

【語釋】

成了 形質の變化せる場合に用ふ。例「成了賊了」泥棒になつてしまつた。

口頭禪 *k'ou 3 t'ou 2 ch'an 2* 眞の信仰なくして經を口號む、お題目。

老百姓 民衆 人民。

【參考】 華北一帶にては *lao 3 pai 3 hsing 4* と發音しあるも北京語にては飽迄も *lao po hsing* なり。

一天比一天 一日一日と。

享受 *hsiang 3 shou 4* (動詞) 受くる。

【譯文】

南京は陥落した、支那人の言ふ所の王道樂土は現出した。日支は兄弟の如くにして共に東洋平和を建てん。悪魔の様な蔣介石政權は已に過去のお題目となつてしまつた。民衆の幸福はこれから日一日と多く享くる事であらう。

26 機彈大半抛在民房上，一眨眼兒的工夫，那一帶的商店民房，紛紛着火，並且迅速地蔓延開來。(敵方戰記抄)

【語釋】

機彈 飛行機より打つ銃彈。

抛 *pieh 3* 擲つ。*p'ao 1* は文話なり。

民房 民家。

一眨眼的工夫 *i 4 cha 3 yen 3 ta 1 kung 1 fu 1* まばたきする間、一瞬間。

紛紛着火 *fen 1 fen 1 chao 2 huos 3* ベラ／＼と燃え出す。

【參考】「紛紛(副詞)切りに、紛紛と。」

【譯文】

機彈は大半は民家に擲られたので瞬間そこらあたりの商店や民家にベラ／＼火がつきどんどんと延焼した。

27 這樣一來，敵人完全慌亂失措，一部分流水一般的向那一路潰走，還有一部走不及的，便給我們圍住。(敵方戰記抄)

【語釋】

這樣一來 それから、それ以來。

慌亂失措 *huang 1 luan 4 shih 1 tso 4* あはてふためき措置を失する。

流水一般 まるで流水のやうに。こゝにては副詞句。

走不及 間に合はず。「不及」及ばぬ内容を示す助動詞。

圍住 *wei2 chu4* 包圍する。

【譯文】

それ以來と云ふもの敵は全く混亂に陥入り處置なく流水の如く彼方へ潰走してしまつた、尙一部潰走しきれぬ奴は包圍されてしまつた。

28 子彈用完了，上起刺刀來殺敵；刺刀殺斷了，用槍桿來擊敵；槍桿擊壞了，揮拳去打敵；兩拳打殘了，還有你們的牙齒可以咬敵！（敵方論文抄）

【語釋】

子彈 *tzu3 tan4* 銃彈。

【參考】「子」個々を現はす場合は三聲に發す。

上起來 着劍する。

刺刀 *t'zu4 tao1* 銃劍。

殺斷 切り殺す。こゝにては折斷の意。

槍桿 *ch'iang1 kan3* 銃床。

打殘 「殘」＝「殘廢」。負傷する。

可以 よろしい、出来るの意を持つ助動詞。

【譯文】

彈丸を打ち盡したら着劍して敵を殺し、着劍が折れたら銃床を以て敵を撃ち、銃床が壞れたら拳を揮つて敵を打て。兩拳が碎けたら尙諸君齒で敵を咬めるであらう。

29 我們沒奈他們何，但是他們也沒有甚麼法子佔領我們的土地。我們的士兵嘻笑地用迫擊砲，機關槍，步槍向敵艦射擊，但是這完全不能給敵艦去損害。（敵方戰記抄）

【語釋】

沒奈何 *mei2 nai4 ho2* 奈何ともするなし。

嘻笑地 *hsi1 hsiao4 ti4* 笑ひ乍ら。

敵艦 ti 2 chien 4 (日本軍艦を指す)。

【譯文】

吾々は敵方を如何とも處置し難いが敵方も亦吾々の土地を占領する何等の方法も無いのである。我方の兵士は笑ひ乍ら迫撃砲や機關銃や歩兵銃で敵艦を射撃してみたがこれは完全に敵艦に損害を與へ得なかつた。

30 我們雖然一共有七架高射砲，並且陸續發射，但是不肯打墜他們一架，也不肯打傷他們一架！不但是這樣，我們的高射砲因為發炮太多，自身反而炸裂了兩門。高射砲之不能擊中飛機，這是無可如何的。(敵方戰記抄)

【語釋】

一 共 合計、總計。

不 嘗……嘗つて……せず。

打 墜 ta 3 chui 4 打ち墜す。

打 傷 ta 3 shang 1 打ち傷つく、損害を與へる。

【參考】「打」打つ意味を持つ接頭語なり。例(「打算」「打點」「打扮」「打盹」等)。

發 炮 pao 4 發砲。

反 而 反つて。

擊 中 chi 1 chung 4 中(あた)るの意。

無 可 如 何 無可奈何。處置なし。

【譯文】

吾々は合計七台の高射砲を有し而もそれを続け様に發射するのだが敵の一機をも擊墜した事がないし、損傷した事もないのだ。それどころか、吾々の高射砲は餘り打ちすぎるので自分自身反つて二門炸裂さしてしまつた。高射砲の飛行機を擊墜し能はざる事如何とも處置なしである。

31 我看現在合國的人，只知圖利不講仁義，其實仁義就是得利的根本，又何必把利搭在前頭，鬧的一國上下相爭呢？就知自己顧自己，人心相離，國勢也就

難保了。

【語釋】

合國的人 全國の人。

其實 併し、其の實。

何必……呢 何ぞ必ずしも……や。

搭在前頭 ta1 tsai4 chian2 t'ou2 先きにする。

鬧的 nao4 tai1 弄する。

【参考】

「鬧」亂し騒がす意あり(例)「鬧天氣(荒天氣)」。「鬧賊(泥棒が入る)」。「鬧肚子(腹痛)」。「鬧鼠疫(ペスト騒ぎ)」。「鬧土匪(土匪騒ぎ)」。

自己願自己 自身のみを願る。

就||但 唯だ。

【譯文】

惟ふに現下全國の人々は只だ利を圖るを知りて仁義を重んぜず其實仁義こそは利を得る根本である又何ぞ必ずしも利を先きにし一國を擧げて相争ふを要せんや、利己のみを圖らば人心相去り國勢亦保ち難からん。

32 凡人擔任一種職務，不管職務的大小，都應該拿全力去應付他。無論處在甚困難的時候兒，無論遇着甚麼危險，都不應丟了職務不顧。(汪氏論文抄)

【語釋】

不管 拘はらず、論ぜすの意。

應付 ying4 fu4 應ずる、處置する。

處 chu3 處する。

丟 tui3 失ふ、棄てる。

【譯文】

凡そ人は或職務を擔任する時其職務の大小に拘はらず、いづれも應さに全力を盡してそれにあ

たる可きである。如何なる困難にぶつかるとき、又如何なる危険に遭遇するに論なく職務を棄て、顧みないやうな事があつてはならない。

33 如今的時局，情形複雜，變化多端，無論眼光多麼精銳，思想多麼靈敏，也看不透猜不出，總而言之，是莫名其妙。（敵方論文抄）

【語釋】

情・形 光景、情況、様子。

多端 事の多く繁きを云ふ。

無論 ……に論無く。關はらず。

多麼（副詞） どんなに、非常に、どうも。

思想 思想、思想する、考へ。

靈敏 *ling² min³* 敏活、勘のいい事を意味す。

看不透 見抜く事が出来ない、見透せない。

猜不出 *ts'ai¹ pu⁴ ch'u¹* 推察し得ない、あてられない。

總而言之 *tsung³ erh² yen² chih¹* 總じて之を言へば、つまり、畢竟、これを要するに。

莫名其妙 *mo⁴ ming² ch'i² miao⁴* 莫明其妙 その妙名づくる莫し、どうもわからない。

【譯文】

現今の時局は誠に情況は複雑で變化は目まぐるしい。着眼が如何に鋭敏で思索がどんなに敏感であつても亦看破し得ず推察もなし得ない。これを要するにどうも不可解なのである。

34 人類的思想，用聲音來發表，叫做語言。但是語言在一時一地，固然可以通彼此的情意，若要達到遠方，傳到後世，就辦不到了，所以必有文字去補助他，他的功用纔完備。

【語釋】

聲音 聲、音、音聲。

叫做 呼んで…となす。呼ぶ、稱す。

語言 yü³ yen² 言葉、言語。

在一時一地 一時代一地方に於て。

情意 意志、感情。

若要 若し……せんと欲せば。

辦不到 「不到」完全になし得ざる内容を示す。

功用 作用、働き、機能。

【譯文】

人類の思想が音聲を以て發表せられるを言語といふ。但し言語は一時代一地方に在りては固より彼我互の意志を通じ得べきも若し遠方に達し後世に傳へんと欲せば不可能であるそれ故必ず文字なるものがあつてそれを補助して始めてその作用が完備するのである。

35 他們看見這隻勇敢的小鴿子，在空中掙扎着，漸漸的飛到快槍射力距離以外，一翻身，好像一條灰藍線似的，從空中一直回到司令部去了。

【語釋】

看・見 見た。この「看見」は此文の終りまで關係あり。

隻 鴿子の量詞。

參考 南方語に在りては動物類に多く「隻」を用ふ。

鴿子 ko¹ tzu¹ 飼鳩を云ふ。「鳩」は文語。

參考 軍用鳩は「軍用鴿子」。

掙扎着 動詞「掙扎」に現在分詞を示す助動詞「着」の附加されその進行形を表はすもの。頑張る、耐え努むる。|| 扎掙着。

漸漸的 chien¹ chien¹ ta¹ (副詞) 漸次、徐々に。

飛到 「到」動作の及ぼす終點を示す。

快槍 ku'ai⁴ ch'iang¹ 「槍」現代語に在りては「鎗」に通用し、短銃を意味す。「快槍」

支那軍用語字典には「快速砲」或「連發銃」とあるもこゝにては暫く機關銃と譯出し置きたり。

好像……似的(熟語) 恰も……の如し。

射力距離 shé 4 li 4 chü 4 li 2 射程距離。

一翻身 一度身を翻すの意なれば「一」は副詞に轉ず。

一條 線の量詞一すち。

灰藍色 hui 1 lan 2 sé 4 空色の薄きもの。

一直 〓一直的(副詞) 眞直に。

【譯文】

彼等はこの勇敢なる小鳩が空中に堪へ乍らも徐々と機關銃の射程距離外に飛び出し一轉廻するやまるで一條の薄空色の線のやうに空中を寫地に司令部へと戻つて行つたのを見た。

36 民族抗敵的問題は中國社會整個問題，也是每一個中國人的切身問題。敵人的加緊進攻，動搖了每一個角落裏的中國民衆的生活。(敵方論文抄)

【語釋】

民族抗敵 min 2 tsu 2 kang 4 ti 2 支那民族が結束して敵に抵抗する事で彼等の假想敵國は

勿論日本であつたであらう。

整個的 根本の、眞個の。

切身問題 ch'ieh 1 shên 1 wên 4 ti 2 自己の身にとりて切實な關係ある問題。

敵人 單に敵一字を用ひず「敵兵、敵軍、敵人」とする。

加緊進攻 chia 1 chin 3 chin 4 kung 1 積極的に進攻する。

每一個角落裏 mei 3 i 2 ko 4 ka 1 lo 2 li 3 隅々たる處の。「角落」の發音、四聲の變化し

あるに特に注意を要す。

譯文

民族抗敵の問題は支那社會根本の問題であるし又支那人個々の切實なる問題でもある。敵の積極的進攻は隅から隅までの支那民衆の生活を動搖させる。

37 他的學問見識雖然很明白，可是他的心地奸險，見了利就忘了大義，只顧自己

的私利，做事不講公德，甘心做天下的公敵，像這樣兒的人，大家還能設容他麼？

【語釋】

明白 事理に明らかなるを云ふ。

心地 心根、心の奥底。

奸險 chien 1 hsien 3 狡く陰險なる。

甘心 Kau 1 Hsin 1 こゝにては副詞。甘んじて。

容 juns 2 (動詞) 容れる、宥す、用ふ。

【譯文】

彼の學問見識は非常に優れて居るが、心の奥底は中々陰險である。利の爲めには大義も忘れてしまひ私利にのみ汲々として事をなすに不徳義極まり好んで天下の公敵となつてゐる斯んな人間でも皆の衆は尙彼を宥せるのか。

38 中國是一個以農業經濟爲中心的國家，經濟上有天然的持久性與耐壓性。反過來說，日本是一個工業國，工業國一受戰爭的影響，經濟的基礎馬上動搖，這是中日兩交戰國最重要的區分點。(敵方戰記抄)

【語釋】

耐壓性 nai 4 ya 1 Hsing 4 忍耐性。

反過來說 それに引替へ。

馬上 (副詞) 直ちに、早速。

區分點 ch'ü 1 fen 1 tien 3 區別、異なる點。

【譯文】

支那は一個の農業經濟を以て中心となす國家である、經濟上自然の持久性と耐壓性とがある。それに引替へ日本は一個の工業國である。工業國が一度戰爭の影響を受けると經濟の基礎は直ちに動搖する、これは日支兩交戰國の最も重要な相異點である。

39 換句話說：必得民衆生活的基礎鞏固，然後一切設施，方有着落。中山先生說過：建設之首要在民生，這是千真萬確，不可磨滅的至言。（汪氏論文抄）

【語釋】

換句話說 huan 4 chü 4 hua 4 shuo 1 言葉を換へて云へば。

必得 必 必須 必ず……ねばならぬ

一切 i 2 ch'ieh 4 一切

方有着落 fang 1 yu 3 cho 2 io 4 方（まさ）に落着ある可し。落着き、安定、板につく。

中山先生 孫文、字は逸仙、廣東香山縣の人、日本亡命の際匿名して中山樵と號す、故に人多く稱して中山先生と曰ふ。

說過 會つて云はれた事がある。

首要 shou 3 yao 4 最も主要なるもの。

千真萬確 ch'ien 1 chen 1 wan 4 ch'ieh 4 非常に確實なるを云ふ。

至言 至言、至極尤もなる言葉。

磨滅 mo 2 mieh 4 磨滅する。

【譯文】

換言すれば必ず民衆生活の基礎鞏固たるを要し然る後に一切の施設が適當に整備されるのである。孫逸仙先生も建設の重點は民生に在りと言はれた、これは確に千古不滅の至言である。

40 古人以三十年爲一世，照此計算，十五年以前，可以算是前半世，十五年以後，算是後半世，那麼十六年元旦，是後半的第一天。中華民國前半世，已經鬧得不成樣子了。從這後半世的第一天起，大家可得努力振作，痛改前非，若不然，只怕一世沒出息了。

【語釋】

一世 一代、一世、生涯。

照此計算 chao 4 t'zu 3 chi 4 suan 4 これに照して計算すれば。

不成様子 不成事體 なつて居ない。

痛改前非 t'ung 4 kai 3 ch'ien 2 fei 1 痛く前非を改む、非常に前非を悔ひ改む。

没出息 mei 2 ch'u 1 hsi 2 進歩なし、出世せず、碌でもなしの意、元來利子のつまざる意より出づ。

【参考】 會話上にては（馬鹿ナ！）などの用法あり。

【譯文】

古人は三十年を以て一世とした、しからば十五年以前は前半世十五年以後は後半世と云ふ事が出来る、しからば十六年の元旦は後半世の第一日である。中華民國（になつてから）の前半世はもうなつてゐない程の擾亂つゞきだ、この後半世の第一日からは諸君は是非努力して大いに振ひ立ち眞に前非を悔改めねばならない、若しさうでなければ恐らくは一世碌でもない事に終つてしまふだらう。

41 那時我正在高處督戰，忽見敵軍方面，出來了十幾營生力軍，他們都是勇氣百

倍，打了幾點鐘，兩下裏死傷的很多。我就問部下說，這是誰的兵？ 左右說是敵軍司令的親衛隊。我對天贊嘆說：他是我的硬對手，不可以小看他啊！

【語釋】

營 大隊を營と云ふものにては必ずしも然らず。

生力軍 死力を盡す軍、決死隊。

兩下裏 兩方面、兩軍。

【参考】 「下裏」 、「裏下」 共に其方向、方面を表す意あり。

左右 左右の者、侍臣、幕僚。

親衛隊 ch'in 1 wei 4 tui 4 長官を護衛する軍隊なり元來は上下共非常に顔馴染の者のみを

以て組織しあるもの言ひなり。

對天贊嘆 tui 4 t'ien 1 tsan 4 t'an 4 天に向つて贊嘆する。

硬對手 ying 4 tui 4 shou 3 強敵、好敵手。

小看 || 瞧不起 || 輕視。過小に評價する。

【譯文】

其時私は恰度高い處で督戰してゐたが突然敵方から十數營の決死隊が現はれたのを發見した彼等は何れも勇氣百倍戰鬪數時間に亘つて兩軍とも多數の死傷者を出した。そこで私は部下にあれは誰の兵かと尋ねた處左右の者は敵軍司令官の護衛隊と答へた。で私は天に向つて贊嘆して云つた敵軍司令官は中々好敵手だ敵を過小に評價してはならぬ。

42 日本軍七號佔領太原，山西全省已經平靜了。你們老百姓！趕快和日本軍隊連絡連絡，負起維持治安的責任來罷。但是你們還若聽那幫敗軍的話，再要抵抗日本軍，我們決不客氣，就用飛機轟炸到底，到那時再後悔就來不及了。

【語釋】

七號 七日を云ふ。

老百姓 民衆。老は親しみを表はす接頭語。

趕快 早速に、大急ぎに。

一幫敗軍 i 1 pang 1 pai 4 chin 1 「幫」敗軍の量詞。

不客氣 遠慮なく、容赦なく、假借なく。

【參考】

「客氣」には遠慮と丁寧の兩義あり會話上にては主客共に使用しあり。

轟炸到底 hung 1 cha 4 tao 4 ti 3 徹底的に爆撃する。「到底」は程度を示す副詞的用法なり。

後悔來不及 hou 4 hui 3 lai 2 pu 4 chi 2 後悔するも追いつかない。「不及」間に合はず、及ばずの意を示す不可能の助動詞なり。

【譯文】

日本軍は七日太原を佔領し山西省全體は己に平定した。民衆諸君は早速にも日本軍隊と連絡をつけ該地方の治安維持の責任を負へ。但し此上とも敗殘兵などの命を聽いて更に日本軍に抵抗するならば吾々は容赦なく即刻飛行機で徹底的に爆撃するであらう、さうなつてから後悔するも及ばない。

43 高射炮高射的時候，敵機他是飛行的，你們想一想在幾千把尺的地下要拿槍炮，打幾千尺以上走着的飛機，這不是很難的麼？並且飛機上的人，他若是知道下邊有人打他，他可以左飛、右飛、上飛、下飛、前飛、翻飛、的躲避攻擊，這是更難射擊了麼？（敵方戰記抄）

【語釋】

高射炮 kao 1 shé 4 p'ao 4
幾千把尺 數千尺。

【參考】「幾千八尺」とも云ふ、南方語なり。北京語にては幾千「來」尺、幾千「多」尺と云ふ。地下「天上地下」なり。「地下」は「天上」に對して地上の意なり。

翻飛 fan 1 fei 1 反轉、宙返り飛行。

躲避 to 3 pi 4 (動詞) 避ける。

不是……麼……に非らずや。

【譯文】

高射砲が高射撃の際は敵機も飛行しるのである。想像してもみたまへ幾千尺の地上から銃砲を以て數千尺の上空を飛んで居る飛行機を射つのであるこれは至難の事ではなからうか且つ機上の人若し下方から射撃されるや左右に上下に前に後にその攻撃を避ける事が出来るのである斯うなると更に射撃し難い事ではないか。

44 我們的士兵，仍然一步不退，用手榴彈，和他們對擲，用刺刀，和他們相格，有時則轟然一聲，使敵人和自己都碎身於手榴彈的爆炸之下。（敵方戰記抄）

【語釋】

仍然 jéng 2 jan 2 仍ほ、尙。

手榴彈 shou 3 liu 2 tau 4

對擲 tui 4 jéng 1 相擲げ敵對する。

【參考】元來「擲」chih 1 なるも「扔」jéng 1 に通用する。

相格 Hsiang 1 ko 2 相撃つ、格闘する。

有時 時有りてか、時には。

使(使役の前置詞) ……をして……せしむ。

【譯文】

我が兵士は仍ほ一步も退かず手榴彈を以て敵に對抗し、銃劍を以て敵と相撃つた。時には轟然一發敵諸共手榴彈の炸裂下に散華した。

45 箭已經離弦了。國民政府及其領導下的中國民衆，一年來所熱烈懷抱的參戰希望，現在實現了。然與宣戰佈告頒布的同時，國府由和平政權邁入戰時政權，國民亦由和平民衆躍而爲戰時民衆。(國民政府宣戰佈告論文抄)

【語釋】

箭離弦 chien 4 li 2 hsien 3 矢は弦より放たれた。

懷抱 huai 2 paot 4 (動詞) 抱懷する。

與……同時 ……と同時に。

國府 即ち汪主席に依りて代表せられある現在の南京國民政府。

邁入 mai 4 ju 4 勇敢に足を踏み入れる。

【譯文】

箭は己に弦を離れた。國民政府及其その領導下の支那民衆は一年來熱烈に抱懷した所の參戰希望が今や實現したのだ。然し宣戰佈告頒布と同時に國民政府は和平政權より戰時政權に勇往邁進した國民も亦和平民衆より一躍して戰時民衆になつた。

46 民治是個高尚的理想，這我固然也是承認；不過依我簡截不客氣的說，現在中國人民還不配推行那個理想的；請你們不要悞會，我的意思並不在乎要推翻那個理想，是却在乎要設法增高人民的程度的。

【語釋】

是個「個」は殆ど定冠詞の如きものと解しても可い。

不過 副詞的に譯出して「只だ」。次句に迄關係するに注意を要す。
依(前置詞) 依りて、従つて、……通りに。

簡截 chien 3 chieh 2 簡単に、直截簡明に、端的に。
不配 ふさはしくない、つりあはない。

【參考】「配」其資格の有無を問ふ意あり。(例)「他不配做這個事」彼はこんな事をする資格なし。

推行 推行する、押し擴める、推進する。

悞會 wu 4 hui 4 悞||誤。誤解する、思ひ違ひする。
意思 i 4 sui 1 意思、心、意味。

不在乎……に在らず、……ではない、……に關はない。

推翻 翻へす、顛覆する。

却 却つて、寧しろ。

設法 shé 4 fa 3 方法を講ずる、計畫を立てる。

增高 tseng 1 kao 1 向上せしむ。

【譯文】

民治は高尚なる理想である。それは私も固より認めてゐる。只だ私をして端的に飾らずに言はしめるならば今の支那人は未だその理想を推進して行くだけの資格がない(と云ふ丈けなのだ)諸君誤解しないでくれ給へ、私の言つてる意味は決してその理想をひつくりかへすと云ふ譯ではない、寧ろ何とか方法を講じて人民の程度を向上させたいと云ふのに在るのである。

47 我們做了軍人，便當以身許國，怎麼還怕犧牲！ 現在固然無法可以自全了，

但是大丈夫決不能這樣無聲無臭而死。我們祇要一息尙存，總該和敵人奮闘到底。事情就這樣的失敗了，可是他戰死的事蹟，在戰史上，卻值得大書特書的。

【語釋】

做軍人「做」は「作」の俗字、爲す、つくる、働く。軍人になる、軍人たる。

便當 *pien 4 tang 4* (副詞) 「必ず…すべし」の意。

以身許國 *i 3 shên 1 hsi 3 kuo 2* 身を以て國に許す、國家の爲めに挺身する。
無法可以自全 *wu 2 fa 3 k'o 3 i 3 tzu 4 ch'uan 2* 自ら我が身を安らかに保全する法なし。

【參考】(南史) 潛爲自全計(潛に自全の計を爲す)。

大丈夫 *ta 4 chang 4 fu 1* 男兒、ますらを、をのこ、大丈夫。

無聲無臭而死 *wu 2 shêng 1 wu 2 ch'ou 4 erh 2 ssu 3* 名の世にあらはれずして死ぬ、大死する事。

祇要 *chih 3 yao 4* = 只要(副詞)たゞ…するのみ。

一息尙存 *i 4 hsi 2 shang 4 ts'uu 2* まだ呼吸のある間は。

總該「總」結論に用ひ、「該」斯くある可き筈の助動詞として用ふ。

到底 *to 1* には奮闘の終局を示す副詞、飽迄奮闘する。

卻却(副詞) 却りて、却字は俗字。
值得 *chih 2 te 1* 値し得る。

大書特書 特筆大書。

【譯文】

吾々軍人たるものは當然國家に身を捧げあるものであるから、いかでか又犠牲を怕れん。今や固より身を全うする事は出来ないにしても大丈夫たるものはこの様に無意味な大死する事は出来ない。只だ一息尙存すよろしく敵と徹底的に奮闘すべし、斯くして事は失敗に歸したが戦死の事蹟は戦史上に寧ろ特筆大書する價值がある。

48 那地方樹木陰鬱，山路崎嶇，一般殘暴的鬍匪們，常常出沒其間：所以，旅客們經過那邊兒，總是提心弔膽，不敢大意。原來綠林中的強盜，是官吏逼迫他們到這地步的，中國如果不革命，小百姓也許永遠沒有安樂的日子呢！

【語釋】

山路崎嶇 *shan 1 lu 4 ch'i 2 ch'ü 1* 山路の極めて險しき形容。

殘暴 *ts'an 2 pao 4* 殘字殘害する、殘虐なる、そしる等の意あり。殘酷亂暴。

【考】 但し孟子には「賊義者謂之殘」とあり。

鬪匪們 hu 2 fei 3 mên 2 馬賊を云ふ。

出沒 ch'ü 1 mo 4 出沒する。

提心弔膽 t'i 2 hsin 1 tiao 4 tan 3 びくびくする、おっかなびつくり。
不敢大意 「不敢」敢へて怕れて……せず。油断をしなす。

綠林 lu 4 lin 2 盜賊。

【考】 西漢の末王莽、漢を篡奪し、新市王匡等兵を綠林山中に起して綠林と號す。後世劫盜を稱して綠林と稱するはこれに本づく。

逼迫 pi 1 po 4 窘迫する、厭迫する。

地步 地位、場合、はめ、所。

小百姓 「百姓」は民衆の意、下々人民、弱小階級の者。「老百姓」も民衆。
也許 或は亦然らむ、さうかもしれない。
日子 日なり。「年子」年を云ふ。

【譯文】

その地方は樹木は鬱蒼と蔽茂り山路は崎嶇と曲りくねり、しかも殘虐性ある馬賊共がいつも其間に出沒するので旅客達はそこを通ると懼れ慄き油断をしやうとしない。元來山中の強盜は時の官吏なるものが、そんなはめに迄追ひやつたのである。支那が若し革命をしないならば、力のない下々の者は或は永久に安居樂業する日が無いかもしれないのだ。

49 你記着：最重要的時候只有一個，就是「現在」；因爲只有「現在」是我們的
力量所能及的。最重要的人，就是現在和你對面的人；你自己不能知道將來相
與的是什麼人。最重要的事，就是待人好；因爲人沒有不希望別人待他好的。

【語釋】

你記着 こゝでは記憶せよと命令調なり。

【考】 「你」往々にして「你們」と解するを可とする時あり語勢に注意するを要す。

就是 こゝでは即ちの意。

是……的 「的」は上の文章を的にて一くゝりとなし即ち一の名詞句となして是字に關係を持たしめん爲めに附せられたるなり。現在こそは吾々の力の及ぶ能ふ所のものである。

【参考】「的」は次ぎに「人、物、事」の三字の何れかを補足して解すべし。

相與的 相關係あるもの、「相」副詞なれば一聲他は四聲。

待人好 人を好遇する。

【参考】「待遇」四聲、待つ意には一聲。

【譯文】

諸君記憶せよ、最も重要な時は只だ一つあるのみである、即ち「現在」である。何となれば只だ現在こそは自分等の力量の及ぼし得る所であるからである。最も重要な人は即ち現在君と對面してゐる人である、何となれば自分自身將來相關する者が誰であらうかを知り能はざればなり。最も重要な事は即ち人を好く遇する事である、何となれば人は別人が好くしてくれる事を希望しない者は無いからである。

50 巴黎圍城中早已絕糧了。連林中的飛鳥，溝裏的老鼠，也漸漸的稀少了。城中的人到了這步田地，只好有什麼便吃什麼，還有些人竟什麼都沒得吃。

【語釋】

巴 黎 黎 黎 巴 里。

圍城中 籠城中。

早 已 早已已經。もはや、とつくに。

絕 糧 chieh 2 kang 2 食糧が絶える。

【参考】(周禮)行道には糧と云ひ、止居には食と云ふ。

連……也(熟語) ……さへも亦……。

老 鼠 lao 3 shu 3 北京語は「耗子」なり、「老」親しみを表す。

這步田地 「步」(量詞)、「田地」||地歩。場所、地位。田字一聲に變ず。

只 好 tzu 4 hao 3 巴むなく。

什麼……什麼(熟語) 並列累加の接續詞である 何でも……何でも……する。
 竟 遂には、只だ……するばり。

【譯文】

巴里籠城中早くも糧食が盡きてしまった。林中の飛鳥、溝の鼠すら亦段々少くなつてしまつた。城中の人々は此の様な場合になつたので止むなく何でも有るものは何でも食ひ、尙ほ多くの人には遂には何物にもありつけなくなつてしまつた。

51 我們的軍隊原是悄悄地趕來的，那裏知道他們已經得了信。得了信當然有了防備。前去襲擊，說不定會遇到堅強的抵抗。那就不容易有成功的把握了。我們這樣想，就命令軍隊停止前進。

【語釋】

原是||原來。

悄悄地 *ch'iao 3 ch'iao 1 ti 4* 窃かに、こつそりと、俗語には三聲、文語にては四聲。

趕來 追迫し來る、急いで來る。

那裏 不定詞なり副詞として譯出。何ぞ、焉んぞ。

得了信 「信」消息、便り、合圖の意。

說不定 其説定かならず、斷言し得ない。

會 事の意外なる意を含む助動詞。

堅強 *chien 1 ch'iang 2* 頑強な。「強」形容詞には二聲、副詞には三聲。

那就(接續詞) さうなれば。

把握 *pa 3 wo 4* 見込み、信念、自信。「握」俗音 *wo 4* に發す。

【譯文】

吾々の軍隊は元來極秘裡に追迫して來たものなのにいづくんぞ知らん敵は已にその消息を知つて居るのである。消息を知りあるからには當然防備しある事であらう。襲撃しても頑強な抵抗に遭遇するやも圖り難い。さうなれば容易に成功の見込はたゞぬかもしれぬ。さう考へたので早速軍隊に命令して前進を停止せしめた。

52 在戰場上搶掠暴行便行槍斃，因此士氣嚴正。軍法如不作便罷，既作出來便非得嚴正不可。嚴正守法的德國，不是民主主義國家所能够比得上的。

【語釋】

在……上 前置詞と後置詞である、共に位置、所在を示して居る。

搶掠 ch'iang 3 lieh 3 掠奪する。

便(接續詞) 前出説明の如く此文中の「便」は皆「就」と同様である。即ち、それこそその意、接續詞的用法である。

【参考】「罷」「如」共に簡単に日本語から或は初級支那語の偏用から早呑込みしてはならぬ、白話中にも高級文には斯うした文語に近いものもある、これは本年の再審問題である。

槍斃 ch'iang 1 pi 4 銃殺する。

因此 これに依りて。

如不作便罷 「如」は(もし)と訓讀する。この「罷」も語尾の助詞に非らず、動詞なり四聲に

發す、罷む、止む、休むの意。(例)「罷工」同盟罷工。若し(軍法は)作らざれば即ち(論ずるを)止む。

既 既に……した以上は、……したからにはと強く譯出し單に過去を示す「已經」と區別するを要す。

非……不可(熟語) ……に非らざれば不可なり。

得 tei 3 要。

能够 neng 2 kou 4 「够」夠「穀」足りる満つる意あり、可能の助動詞。

比得上(熟語) 比較し得る、及び得る意。

【参考】可能不可能を示す「(動詞)不上」は故障の有無、結果の到達不到達を表はす内容を持つて居る。

【譯文】

戰場に於ける掠奪暴行は即ち銃殺を行ふこれに因りて士氣嚴正なり。軍法は如し制定しあらざれば即ち止む既に制定しある以上は即ち嚴守するに非ざれば不可なり。嚴罰を以て臨む獨乙は

民主主義國家などの能く比較し得る處に非らず。

七〇

53 敵人因爲戰具上佔極大的優勢，便輕易不肯把機會放過，在我們的砲臺失去了抵抗的力量時，敵艦還是繼續發砲，敵機亦繼續轟炸，希圖乘機登陸佔領陣地。（敵方戰記抄）

【語釋】

戰具 chan 4 chü 4 兵器、裝備と解す。

佔 佔む。「占」は占卦に用ふ。

輕易不……（副詞）輕々しく、容易に、中々に、滅多に……せず。

放過 其儘に放置して不問に附す。

希圖 Hsi 1 tu 2 企圖する。

乘機登陸 chêng 2 chi 1 têng 1 lu 4 機に乗じて上陸する。

【譯文】

敵は兵器に極めて優勢を占めある爲め中々輕々しく機會を見遁さうとはしない吾々の砲臺が抵抗力を喪失した時でも敵艦（敵即ち日本）は依然として發砲を繼續し敵機も亦斷えず爆撃を續け機に乗じて上陸し陣地を占領せんと企圖しあり。

54 從這次劇戰後，我們的砲台便失其效用。我一面派兵把守，拒絕任何人參觀，一面對外間表示砲台仍繼續在活動中，並且在裝置新式的大砲；這與其說是用來欺敵人，無寧說是用來安慰自己的軍心和民心。（敵方戰記抄）

從……後 ……より後。

這次 今回、今次。

一面……一面（熟語） 一面……し、一面……す。

把守 守備する。

任何人 〓就是無論甚麼人。 任 〓連、何人すらも。

與其……無寧（熟語） 其の……するよりは寧ろ……なり。「無寧」は「寧可」よりは其用法

強し、絶對的なるを示す。

用來 用ひて、はたらきにする、きゝめにする。

軍心 軍人の心、精神。

【譯文】

今回の劇戦後吾々の砲臺は即ち用をなさなくなつてしまつた。(そこで)自分は一面兵を派遣して守備せしめ何人と雖も參觀を拒絶し他面外部に對しては砲臺は仍ほ引續き活躍中にして且又新式の太砲を裝備しある如く表示した。これは敵を欺ききゝめと云ふよりは寧ろ自己の軍心並に民心を安慰さすきゝめと云ひたいのである。

55 後來有人奇怪我們的砲臺爲什麼老是不發砲？ 對於緊靠在江邊的敵艦不與以

射擊，不知道其實那時的砲臺已經連稻草人的威力都沒有了！（敵方戰記抄）

【語釋】

有人 「有個人」は一人を限定するも「有人」は然らず。或人。

奇怪(動詞) 訝る、詰る。

爲什麼 爲什麼。

緊靠 びつたりと横づけになつて居る。

江邊 揚子江岸。

【參考】 「江」は揚子江、「河」は黄河を指す。

與以射擊 與ふるに射撃を以てす。

其實 併し、其實。

連……都……(熟語) ……すらも亦……。

【參考】 單數名詞が來る時「連……也」と「也」にて受け、複數名詞の來る時は「都」で聯接するを普通とする。然らざる場合に「都」にて受くるは語調強し。

稻草人 taot tsao 3 jén 2 案山子、かゝし、藁人形。

【譯文】

後で吾々の砲臺が何故にいつまで沈黙してるのか、何故揚子江岸にくつついて居る敵艦に對し

て射撃しないかと詰る人があつたが、焉んぞ知らん其時の砲臺は已に案山子の威力すらも無かつたのである。

56 八時許、天空突現敵機二十四架、在我們吳淞鎮陣地上空盤旋數週後、即擲下重量炸彈數十顆。這天雖然下着帶雪的微雨、但是敵機仍然能活動、只要稍微可以作為標的的地方、都不能免他們的轟炸。(敵方戰記抄)

【語釋】

八時許 「許」(接尾語) 八時ばかり、八時頃。

天空 t'ien¹ k'ung¹ 空、天、天空。

【參考】「空」一聲空氣、三聲穴。四聲空房。

突現 t'u⁴ hsien⁴ 突として現はれる。

盤旋 p'an² hsian² 旋廻する。「盤」にも廻る意あり。

擲下 投下する、溜める送り届ける意もあり。

炸彈 爆彈。兩字共四聲に發す。

顆(量詞) 圓形の物に用ふ。

帶雪的微雨 雪まじりの小雨。

只要……都(熟語) 只だ……さへあれば各れも……なり。

稍微(副詞) 僅か、少しばかり。

【參考】「少微」「稍爲」あり皆同じ。

作為標的 標的と作り爲す。「的」はハに發す。

【參考】「的」は助字一聲ハ音。「目的」「標的」の如く名詞四聲ニ音。「的確」は二聲。

【譯文】

八時頃空に突然敵機二十四機が現はれて吾々の吳淞鎮陣地上空で幾廻りも旋廻してから重量爆彈數十個を投下した。この日雪混りの微雨が降つて居つたが敵機は仍ほ活動出來た要するに少しでも標的となり得る地點は彼等の爆撃から免れる事は出來なかつた。

57 早上據前哨報告：說是在張華濱左近，發現敵人鐵甲車六架，步兵甚噪雜，有向我方陣地進攻的樣子。我除令前線守兵嚴密監視外，即飭第五團第一營進入泗塘河陣地，因為恐怕敵人在蘆藻濱上游偷渡後，向我方右背側包抄。（敵方戰記抄）

【語釋】

早上 正しくは「早响」なり。早朝。

【参考】「晚上」も「晚响」なり。

左近 附近。

鐵甲車 裝甲車、戰車。

噪雜 tsaŋ¹ tsa² 〓 嘈雜。噪ぐ、喧噪、がや／＼澤山の人々のさわぐ形容。

甚 〓 很（副詞） 四聲に發す。

除（了）……（以）外（熟語）……の外を除き。

令 〓 使（使役の前置詞）……をして……せしむ。

即 飭 chi² chi⁴ 即時に命令する。

第五團第一營 第五聯隊第一大隊。

【参考】軍（軍）師（師團）旅（旅團）團（聯隊）營（大隊）連（中隊）排（小隊）棚（分隊）。

進入 元來「進」は這入るの意である。

恐怕（副詞） 恐らくは。

上游 上流。

偷渡 t'ou¹ fu⁴ 窃かに渡河する。

包抄 pao¹ chao¹ 兩翼より敵の背後に出で、包圍する。「抄」略取する意あり。

【譯文】

早朝前哨の報告に據ると張華濱附近にて敵の裝甲車六臺歩兵は甚だ喧噪しつゝ、我方陣地に向ひて進攻しある情況を發見せしを告ぐ。（依りて）自分は前線守備の兵に嚴重監視せしむると共に即時第五團第一營に命じて泗塘河陣地に進入せしめたり。恐らく敵は蘆藻濱の上流に於て渡河

の後我方の右背側に對して包圍するものゝ如し。

58 因爲我們兵力單薄，敵人以海陸空三方面的全力向我方壓迫，若和他們作大規模的會戰，恐怕不易支持；所以我決定化整爲零，使敵人於實行佔領時，不得不付加倍的代價。（敵方戰記抄）

【語釋】

單薄 *tan 1 pao 2* 手薄。

不易支持 *pu 2 i 4 chih 1 ch'ih 2* 支持し難し。

化整爲零 *hua 4 chéng 3 wei 2 ling 2* 整を化して零と爲す。一の物を零細にする、いくつにも分ける。

不得不（熟語）……せざるを得ず。……しなければならぬ。

付 與ふ、交付する。

加倍的代價 倍加の代價 即ち多分に消耗せしむるを云ふ。

【譯文】

吾々の兵力は手薄であるから敵が海陸空の三方面の全力を以て吾々に對し壓迫の結果若し彼等と大規模の會戰あらば恐らくは支持に困難であらう其故に自分は分散を圖つて敵をして占領を實行する時倍價の代價を拂はねばならぬ様に措置した。

59 大亞洲主義並沒有排斥他洲人的意思。我相信中日兩國做了朋友之後，亞洲必然得到和平，得到繁榮，他洲人住在裏頭，只有更加幸福。同時我相信中日兩國如果這樣的做仇敵，相持下去，則亞洲將非亞洲人之亞洲了。（汪氏論文抄）

【語釋】

大亞洲主義 *ta 4 ya 3 chou 1 chu 3 i 4* 孫文が主張せる大亞細亞主義。

只有 只だ有るのみ、「只」一字の時は *chih 3* 熟語を構成すると北京人は *shih 4* 四聲乃至二聲。（例）只要——只好——只管等皆 *shih 4* 音なり。

相持下去 持續するなれば。

將 Chiang I 將に……せんとす。

【譯文】

大亞細亞主義には毛頭他洲の人を排斥する意味はない。余は日支兩國が盟友となる後亞細亞は必然平和になり繁榮になり其處に住む他洲の人々も更に一層幸福を増すことになる。併し同時に余は日支兩國がもし此の儘仇敵視して互に相對するならば亞細亞は亞細亞人の亞細亞ではなくなるであらうと信ずる。

60 海外僑胞！

我知道你們都有愛國心的，然而你們遠在海外，見聞不實，並且你們恕我說這句話：你們所站的是風涼地，自然容易說風涼話了，你們只要回到中國來，你們就會知道一切；你們知道一切之後，如果國家已經沒有可救的手段呢！我和你們同死；如果還有一路可救呢！我和你們同負救國的責任罷！（汪氏論文抄）

【語釋】

僑胞 chiao² pao¹ 「僑」は本國を離れて海外に居留しあるものを云ふ。（例）華僑、日

僑。「胞」は同胞である。海外に在る同胞の意。

然而 然り而して、併し。

見聞不實 見聞する處事實と相違して居る。

恕我說這句話 「恕」 shu⁴ 私が斯んな話をする事を恕して貰ひたい。

風涼地 無責任な立場。

風涼話 無責任な言葉。共に遠く離れた直接風のあたらぬ意。

只要……就……（熟語） 只だ……さへ……なれば則ち……。

【譯文】

海外の同胞諸君私は諸君が各れも愛國心を持つて居る事を知つてゐる。しかし諸君は遠く海外に在るので見聞する處は事實と甚だ相違して居る。その上若しこんな（失禮な）事を言ふ事が許されるならば諸君は對岸の火災視し得べき位置に立つて居るのだから自然涼しい顔もして居られよう。だが、諸君が支那へ歸つて來さへすれば一切は判然する。一切が判明してから、も

し國家を救ふ手段がないならば私は諸君と共に死を契ふ。もし尙一路の救ふ道があるならば私は諸君と共に責任を負はうではないか。(終り)

從軍行

楊 炯

烽火照西京

心中自不平

牙璋辭鳳闕

鐵騎繞龍城

雪暗凋旗畫

風多雜鼓聲

寧爲百夫長

勝作一書生

例 言

一、時文篇と云つても記事文公文尺牘等色々あるが紙數の關係上主として記事文と公文中の布告文の一部軍用電報の一部耳に取材し他は省略した。

一、何故省略したか、公文尺牘等は何れも定まつた形式があるのでその形式から説明するとなると限られた紙數では到底意を盡し得ないからである。

一、士官學校に於ける學習時間の差異を考へ、難易兩様の材を取り尙連絡をも考慮した。

一、卷末に附録として電報に使用する、月、日、時刻の代用字及各省別名を掲げ参考に供した。

第二編 時文の部

(一)

- 1 江北黨軍厭戰紛紛向日軍投誠
- 2 日軍節節進逼占領馬來半島要衝新山
- 3 各趕赴指定機關繳械投降

【語釋】

- 1 〔紛紛〕しきりと。〔投誠〕降服す、歸順す。
- 2 〔節節〕逐次。〔新山〕地名ジョホールバル
- 3 〔繳械〕武裝解除

【訓讀】

- 1 江北黨軍戰ヲ厭ヒ紛紛トシテ日軍ニ向ヒ投誠ス。

- 2 日軍節節ト進逼シ馬來半島ノ要衝新山ヲ占領ス。
- 3 各ハ指定機關ニ趕赴シ繳械投降セヨ。

【譯文】

- 1 江北黨軍は戦争を厭ひ相次いで日本軍に降服した。
- 2 日本軍は逐次進出し馬來半島の要衝ジヨホールバルを占領した。
- 3 各自は指定せる機關に急ぎ赴き武器を捨て投降せよ。

(二)

- 1 青紗帳將起之際令各縣速籌夏防
- 2 蔣氏倚重川軍陸續調撥南下
- 3 奸商居奇小戶活計殊甚困難

【語釋】

- 1 「青紗帳」高粱株の意、高粱繁茂期となると匪賊も活動期に入る故多くこの意に用ふ。「夏

防」夏期防衛。

- 2 「倚重」信任する。「川軍」四川省軍。「調撥」分遣する。
- 3 「居奇」賣惜みする。「小戶」貧乏人。「活計」生活。

【訓讀】

- 1 青紗帳將ニ起ルノ際各縣ニ令シ速ニ夏防ヲ籌セシム。
- 2 蔣氏川軍ヲ倚重シ陸續ト調撥南下セシム。
- 3 奸商居奇シ小戶ノ活計殊ニ甚ダ困難ナリ。

【譯文】

- 1 高粱繁茂し匪賤の活動期に入る際、各縣に速に夏期防衛をなす様命令した。
- 2 蔣介石は四川省軍を信頼し陸續と分遣南下せしめた。
- 3 奸商は賣惜みをし、貧乏人の生活は殊に困難である。

(三)

- 1 某視察團昨午由奉天抵京外交部昨晚設宴洗塵

- 2 津縣冬賑與防疫辦理頗著成績災民獲益匪淺
- 3 駐寧德使訪畑總司令官互致寒暄歡談極洽

【語譯】

- 1 〔由〕…より。〔抵京〕「京ニ抵(イタ)ル」と訓み、「抵」とは到着の意、南京に到着する。〔洗塵〕歡迎會を開く。
- 2 〔冬賑〕冬期の救恤。〔與〕…と…〔辦理〕處置。〔匪〕否定副詞。…ズと訓む。
- 3 〔寧〕南京の別名。〔德使〕獨逸公使。〔互致〕互に…を致す。〔寒暄〕挨拶をする。〔極洽〕非常に睦じ。

【訓讀】

- 1 某視察團ハ昨午奉天由リ京ニ抵ル、外交部ハ昨晚宴ヲ設ケ洗塵ス。
- 2 津縣ノ冬賑ト(與)防疫辦理ハ頗ル成績ヲ著シ、災民益ヲ獲スルコト淺カラズ(匪)。
- 3 駐寧德使ハ畑總司令官ヲ訪ネ、互ニ寒暄ヲ致シ、歡談極メテ洽シ。

【譯文】

- 1 某視察團は昨日午後奉天より南京に到着した。外交部は昨晚歡迎會を開催した。
- 2 津縣の冬期救恤と防疫處置は極めて好成绩を著し、災民は淺からざる利益を得た。
- 3 南京駐在獨逸公使は畑總司令官を訪問し、相互に挨拶を交し、極めて懇々裡に歡談した。

(四)

- 1 近來游擊隊躊躇裹足不前委係日軍防範愈加嚴重所致者也
- 2 日軍駐華大使日高已榮升爲駐義大使遺缺並任命堀内公使繼任
- 3 宣撫班長某到任以來對於民間疾苦亟爲關懷故一般民衆有口皆碑

【語釋】

- 1 〔裹足〕尻込する。〔委係〕全ク…ニカカハル」と訓み、全ク…であるの意であり。〔防範〕防備。
- 2 〔榮升〕榮轉升任。〔義〕義太利。〔遺缺〕缺員の位置、後任。
- 3 〔關懷〕懸念する。〔有口皆碑〕誰人も賞讃する。

【訓讀】

- 1 近來游擊隊が躊躇裏足シ前（ススマ）ザルハ委（マツタク）日軍ノ防範愈嚴重ヲ加ヘ致ス所ノ者ニ係ル也。
- 2 日本駐華大使館公使日高ハ已ニ榮升シ駐義大使ト爲ル、遺缺ハ竝（ナホ）堀内公使ヲ任命シ任ヲ繼グ
- 3 宣撫班長某任ニ到リテヨリ以來民間ノ疾苦ニ（於）對シ亟ニ關懷ヲ爲ス、故ニ一般民衆ハ口ニ皆碑有リ。

【譯文】

- 1 近來游擊隊が躊躇逡巡し進撃しないのは、日本軍の防衛が確に益々強固となつたからである。
- 2 駐支日本大使館公使日高氏は駐伊太使に榮轉昇進し、その後任は堀内公使が任命された。
- 3 宣撫班長某氏は着任以來直ちに民間の疾病苦惱に大いに懸念す。故に一般民衆は皆宣撫班長を賞讃して居る。

(五)

- 1 英美荷等在東亞之根據地既完全覆滅援渝路線亦全被切斷
- 2 不肖之徒冒充各機關人員探向居民藉端敲詐
- 3 豫西匪氛日益猖獗雖經當局屢次清勦奈此勦彼竄迄未能徹底肅清

【語釋】

- 1 〔美荷〕米國と和蘭。〔援渝路線〕重慶を援助するルート、援蔣ルート。〔被切斷〕切斷せらる。
- 2 〔冒充〕偽りて……になる。〔探〕ひそかに。〔藉端〕事を構へる。言ひがかりを付ける。〔敲詐〕財物を詐取する。
- 3 〔豫西〕豫は河南省の別名。河南省西方。〔匪氛〕匪亂。氛とは妖氣の意。〔清勦〕討伐する。掃蕩する。〔奈〕「イカンセン」と訓む、「奈何」と同じ。〔迄〕「ツヒニ」と訓む。

【訓讀】

- 1 英美荷等ノ東亞ニ在ルノ根據地ハ既ニ完全ニ覆滅シ、援渝路線モ亦全ク切斷セラル（被）。
- 2 不肖ノ徒各機關人員ヲ冒充シ探（ヒソカ）ニ居民ニ向ツテ端ヲ藉リ敲詐セリ。
- 3 豫西ノ匪氣ハ日ニ益々猖獗ス、當局ノ屢次ノ清勦ヲ經ルト雖モ奈セン、此ニ勦スレバ彼ニ竄レ、迄（ツヒ）ニ未ダ徹底肅清スル能ハズ。

【譯文】

- 1 英米和蘭等の東亞に於ける根據地は完全に覆滅し援蔣ルートも切斷された。
- 2 不逞の徒各機關の職員なりと偽稱し、私かに事を構へて居民より財物を詐取した。
- 3 河南省西部の匪變は日々猖獗す、當局は屢々掃蕩したが如何とも致し方なく、此處を討伐すれば彼處に逃げる有様にて、遂に未だ徹底的に肅清するを得ず。

（六）

燃放爆竹最發生火災且易引起誤會本市公安局爲維持治安起見迭經通令並佈告禁止在案

【語釋】

〔燃放〕打ち上げる。〔爲……起見〕「……ノ爲ニ見ヲ起ス」と訓み、……の趣意からの意。
 〔迭經〕屢々……した。〔通令〕訓令する。〔在案〕「案ニ在リ」と訓み、「手續済」の意を表す
 公文用語。

【訓讀】

爆竹ヲ燃放スルハ最モ火災ヲ發生シ易ク且誤會ヲ引起シ易シ。本市公安局ハ治安ヲ維持スル爲ニ見ヲ起シ迭（シバシバ）通令ヲ經、並ニ禁止ヲ佈告シ案ニ在リ。

【譯文】

爆竹を打上げると火災を發生し易く且誤會を引き起し易い。本市公安局は治安を維持する趣意から屢々訓令し、尙禁止を布告した。

（七）

日本軍隊極力保護良民使其安居樂業不過對於抗日份子等不逞之徒予以嚴辦不稍寬

貸倘此種莠民匿居從速告發以免玉石俱焚爲要

【語釋】

〔不過〕「タダ」と訓み、然しとの意。〔嚴辦〕嚴罰。〔不稍寬貸〕「スコシモ寬貸セズ」と訓む。斷じて假借せず。〔倘〕「モシ」と訓む。〔莠民〕惡民。〔從速〕速に。〔玉石俱焚〕善人も惡人も俱に害を受ける。

【訓讀】

日本軍隊ハ極力良民ヲ保護シ、其ヲシテ（使）安居樂業セ使ム。タダ抗日份子等ノ不逞ノ徒ニ（於）對シテハ予フルニ嚴辦ヲ以テシ稍（スコシ）モ寬貸セズ。モシ此種ノ莠民ヲ匿居セバ、速ニ從ヒ告發シ以テ玉石俱ニ焚ヲ免ルルヲ要ト爲ス。

【文譯】

日本軍隊は極力良民を保護し、彼等をして安居樂業せしむるも、唯抗日份子等の不逞の徒輩に對しては嚴罰を以て臨み、寸毫も假借することなし。若し此等不肖の徒を隱匿せば、直ちに告發し玉石混肴の疑を免るること肝要なり。

（八）

自午後十二時以後如在街巷行走經該處哨兵喊令停止之口號即須立定檢查之後方許放行如不遵哨兵即鳴警笛緝捕若有拒捕行爲即予槍斃格殺

【語釋】

〔街巷〕街路。〔行走〕通行する。〔喊令〕聲を上げ命ずる。〔口號〕號令。〔立定〕立ち停る。〔緝捕〕捕縛する。〔拒捕行爲〕捕縛を逃れんとする行爲。〔槍斃〕銃殺。〔格殺〕打殺す。

【訓讀】

午後十二時自リ以後 如シ街巷ニ在リテ行走シ、該處ノ哨兵停止ヲ喊令スルノ口號ヲ經バ、即チ須ク立定スベシ。檢查ノ後方メテ放行ヲ許ス。如シ喊令ニ遵バズ仍（ナホ）行進ニ在ル者ハ該哨兵即チニ警笛ヲ鳴シ緝捕ス。若シ捕ヲ拒ム行爲有ラバ即チニ槍斃格殺ヲ予フ。

【譯文】

午後十二時以後若し街路通行中に該處の歩哨の停止命令を受けし場合は、直ちに立止まらるる度

し。検査完了の後始めて放免す。若し號令に従はずして尙通行中の者に對しては、歩哨は直ちに警笛を鳴しこれを捕縛す。若し捕縛を逃れんとする行爲あらば直ちに銃殺又は撲殺に處す。

(九)

今井大佐調任返國

〔中央社南京六日電〕 日本中華派遣軍總司令部今井大佐奉令調任大東亞省審議室辦事日內即將首途返國今井大佐以在任期間與我軍政各機關當局公私交誼咸極密切此次別離不勝依依故特於六日留片請托外交部交際科代爲轉致

【語釋】

〔調任〕轉任。〔辦事〕事を處理す、勤務する。〔日內〕近日中に。〔本日中に。〕〔首途〕出發する。〔不勝〕……に勝へず。〔依依〕名殘惜い。〔留片〕傳言を認める。〔轉致〕傳達する。

【訓讀】

今井大佐調任返國ス

日本中華派遣軍總司令部今井大佐ハ令ヲ奉ジ大東亞省審議室ニ調任シ事ヲ辦ズ、日內即チ將ニ首途返國ス。今井大佐ハ在任期間我軍政各機關當局ト（與）公私ノ誼咸（ミナ）極メテ密切ナルヲ以テ、此次ノ別離ハ依依ニ勝ヘズ。故ニ特ニ六日ニ（於）片ヲ留メ、外交部交際科ニ代リテ轉致ヲ爲スヲ請托ス。

【譯文】

今井大佐轉任歸國さる。

支那派遣軍總司令部今井大佐は命に依り、大東亞省審議室勤務に轉任し、近日中に出發歸國さる。今井大佐は在任期間中は、我軍當局及び行政機關當局と公私共極めて親密であつたから、今回の別離は眞に名殘惜しい次第である。故に六日挨拶狀を認め、外交部交際科に傳達方を依頼した。

(一〇)

戒嚴區域内所有客棧不得容留潰兵及來歷不明客民毎日該棧須立循環簿寫明旅客姓名

名年歳籍貫來處去所等送交該管警所按日查閱遇軍警到棧稽查須一一指驗如發現匪類或危險物品時立將該棧主及當事人拘送來部

【語釋】

〔所有〕「アラユル」又は「有スル所」と訓み、「あらゆる、すべて」の意。〔客棧〕旅館。〔潰兵〕敗殘兵。〔容留〕宿泊せしむる。〔客民〕外來者。〔循環簿〕日々の宿帳。〔立〕書類を作成すること。〔籍貫〕原籍。〔送交〕送り渡す。〔該管〕所轄。〔按日查閱〕日によつて檢閲する。毎日檢閲する。〔指驗〕本人に就て取調べる。〔立〕「タグチニ」と訓み、即刻の意。〔將〕「……ヲ」と訓む。〔棧主〕旅館の主人。〔拘送〕捕へ連行する。

【訓讀】

戒嚴區域内ノアラユル（所有）客棧ハ潰兵及ビ來歴不明ノ客民ヲ容留スルヲ得ズ。毎日該棧ハ須ク循環簿ヲ立テ旅客ノ姓名、年歳、籍貫、來處 去所等ヲ寫明シ該管警所ニ送交シ日ニ按ジ査閱スベシ（須）。軍警棧ニ到リ稽查スルニ遇ハバ、須ク一一指驗スベシ（須）。如シ匪類或ハ危險物品ヲ發現スル時ハ、立（タグ）チニ該棧主及當事人ヲ（將）拘送來部スベシ。

【譯文】

戒嚴區内の全ての旅館は、敗殘兵又は來歴不明の外來人を宿泊せしむるを得ず。毎日旅館は日
日の宿帳を作成し、旅客の姓名、年歳、原籍、前夜宿泊地、行先地等を明記し、所轄警察所に
差出し、毎日點檢を願ふべし。軍人又は警官取調への爲旅館に赴きし節は、旅館主は一一詳細
に宿泊人につき取調べるを要す。若し匪徒或は危險物品を發見せる節は、直ちに旅館主及責任
者を捕へ本部に連行す。

(一一)

市警察局禁索節費

時屆舊曆中秋俗習不廢各種陋習節規依然盛行乃查市區各警察分局警士往往向各該
區境內住戶居民索取節費殊屬有干禁例市警察局長盧英爲切實整飭警察風紀起見昨
特出示佈告嚴禁如有發現仰各商民人等認清肩章號碼據實具報自當依法懲處決不寬
貸云

【語釋】

〔節費〕 節句に與へる祝儀、「節錢」とも云ふ。〔届〕「トドク」「イタル」と訓み、到るの意。〔中秋〕 中秋の節句。〔不廢〕 すたれず、衰へず。〔陋習〕 いやしいならはし。〔節規〕 節句の規定、行事。〔往往〕 往往にして、ややもすれば。〔索取〕 強要する。〔殊屬〕 殊に……である。〔有干〕 「干スル有リ」と訓む、關係する、抵觸する。〔切實〕 確實に。〔整飭〕 肅正する、整頓する。〔爲……起見〕 「……ノ爲メニ見テ起ス」と訓む、……の趣旨より。「爲……計」も同様。〔出示〕 告示を出す。〔如有〕 若し……が有れば。〔仰〕 「……ヲシテ……セシム」と訓み、命令詞として用ふ。〔號碼〕 番號。〔認清〕 はつきり覺へる。〔據實〕 事實通りに、ありのまま。〔具報〕 詳細に報告する。〔自然〕 當然。〔不寬貸〕 容謝しない。

【訓讀】

市警察局節費ヲ索ムルヲ禁ズ

時舊曆中秋ニ届（イタ）ラバ俗習廢レズ各種陋習節規ハ依然盛行ス。乃チ查スルニ市區各警察分局警士ニシテ往往ニシテ各該區境内ノ住戶居民ニ向ツテ節費ヲ索取スルハ、殊ニ禁例ニ干ス

ルアルニ屬ス。市警察局長盧英ハ警察風紀ヲ切實ニ整飭スル爲ニ見テ起シ、昨特ニ示テ出シ嚴禁ヲ佈告ス。如シ發現スル有ラバ各商民人等ヲシテ（仰）肩章號碼ヲ認清シ、實ニ據リ具報セシメ、自ラ當ニ法ニ依リ懲處シ決シテ寬貸セズト云フ。

【譯文】

舊曆中秋節ともなれば俗習廢れることなく、各種の陋習や節句行事は依然として盛んに行はる。調査したところ、市區各警察分局警士にして、各該區域内の居住民に對し、節句の祝儀を強要することがあるが、この事は殊に禁示法例に抵觸するものである。市警察局長盧英は警察風紀を肅正する趣旨から、昨日特に告示し嚴禁を佈告した。若し發現せば各商民人等をして肩章の番號を覺へ、事實通りに詳細報告せしめ、當然法に照し處分し、決して容謝せずと。

(一一一)

近來各地妨碍日本軍事通信及運輸案件迭出不窮自今而後日本軍每遇發現切斷電線破壞鐵路或妨碍本軍之交通運輸者一律從嚴懲辦各地民衆務須慎重留意擔任電線鐵

路及道路之愛護並遏止匪類之破壞行爲以免不測之厄運爲要茲佈

【語釋】

〔案件〕事件。〔迭出〕續出す。〔不窮〕終ることがない。〔每遇〕「遇フ毎ニ」とも訓み「毎（ツネニ）ニ……ニ遇ヘバ」と訓む。〔從嚴懲辦〕嚴重に處分す。〔務須〕「務メテ須ラク……スベシ」〔遏止〕阻止する。〔不測之厄運〕計らざりき不運。

【訓讀】

近來各地ニ日本ノ軍事通信及ビ運輸ヲ妨碍スルノ案件迭出シテ窮ラズ、今自リ後日本軍ハ電線ヲ切斷シ、鐵路ヲ破壞シ、或ヒハ本軍ノ交通運輸ヲ妨碍スル者ヲ發現スルニ遇フ毎ニ、一律ニ嚴ニ從ヒ懲辦ス。各地ノ民衆努メテ須ク慎重ニ留意シ、電線鐵路及ビ道路ノ愛護ヲ擔任シ、並ニ匪類ノ破壞行爲ヲ遏止シ以テ不測ノ厄運ヲ免ルベシ、要ト爲ス、茲ニ佈ス。

【譯文】

近來各地に日本の軍事通信及び運輸を妨碍するの事件續出し終止するを知らず、今後日本軍は電線を切斷し、鐵路を破壊し、或ひは日本軍の交通運輸を妨碍する者を發見せば、凡て嚴罰に

處す。各地の民衆は努めて須く慎重に注意し電線鐵道及び道路の愛護を擔任し、並に匪賊等の破壊行爲を阻止し、以て不測の惡運を免るべし、肝要となす、ここに佈告す。

(一三)

渝府已臨末路

志士紛紛參加和運

偽浙專員公署秘書等歸順

自渝方盲目抗戰以來迄今數年屢戰屢敗離滅亡之途已告不遠近更勾結英美作長期戰勝利之迷夢故一般有識之士均明知抗戰之非計紛紛參加和運爲國效忠茲渝方浙省「第十區行政督察專員公署秘書」周求鍊「大隊長」何蘭舟及偽「嘉興縣長」鄭器光等亦痛悟抗戰之非計相率來禾向當局投誠決意今後效忠和運爲更生新中國努力

【語釋】

〔渝府〕重慶政府、「渝」とは重慶の別名。「紛紛」盛んに。「偽浙專員」重慶派浙江省專問委員。

國民政府側より重慶側を指す場合「偽」の文字を附す。偽浙省長（重慶派浙江省長）の如し。又重慶派が國民政府及び滿洲國を指す場合にも「偽」の文字を用ふことあり（主として重慶派の新聞耳用ふ）。〔投誠〕歸順又は降服。〔迄今〕今迄、「今ニイタルニ」と訓む。〔勾結〕結托する。〔効忠〕忠を致す。〔來禾〕「禾」とは嘉興の別名、嘉興に來る。

【訓讀】

渝府已ニ末路ニ臨ミ

志士紛々ト和運ニ参加ス

偽浙專員公署秘書等誠ニ投ズ

渝方盲目抗戰シテ自リ以來、今ニ迄ルニ數年、屢戰ヒ屢敗レ、滅亡ノ途ヲ離ルルコト已ニ遠カラザル（不）ヲ告グ。近（チカゴロ）更ニ英美ニ勾托シ長期戰勝利ノ迷夢ヲ作ス。故ニ一般有識ノ士ハ均シク明ニ抗戰ノ非計ヲ知り、紛々ト和運ニ参加シ國ノ爲ニ忠ヲ効ヘリ。茲ニ渝方浙省「第十區行政督察專員公署秘書」周求鍊「大隊長」何蘭舟及び偽「嘉興縣長」鄭器光等モ亦抗戰ノ非計ヲ痛悟シ、相率ヒテ來禾シ、當局ニ向ツテ投誠シ、今後忠ヲ和運ニ効ヒ、更生新中

國ノ爲努力スルヲ決意セリ。

【譯文】

重慶政府已ニ末路に臨み

志士盛んに和平運動に投ず。

重慶派浙江省專員公署秘書等歸順す。

重慶政府が盲目的に抗戰してより今日迄數年間、屢々戦ひ屢々敗れ已に滅亡も遠からざる有様なり。最近更に英米兩國と結托し長期抗戰勝利の惡夢を見る。故に一般有識の士は何人も抗戰の非計を知り、盛んに和平運動に参加し國家の爲忠義を致せり。重慶派浙江省「第十區行政督察專員公署秘書」周求鍊「大隊長」何蘭舟及び偽「嘉興縣長」鄭器光等も亦抗戰の非計を悟り相率ひて嘉興に來り當局に歸順を申し出で、將來和平運動に忠義を致し、更生新中國の爲努力する旨を決意せり。

史城現狀

廢墟中滿佈地雷

碉堡電網觸目皆是

德國戰時記者特萊斯婁乘德國轟炸機赴史達林格勒戰線飛行一週後渠述戰事之情況稱德機向蘇軍砲兵陣地及工業設備投擲炸彈數百枚若干港口設備已淪為廢墟伏爾河中已無運油船往來油庫起火鐵道被毀蘇聯第二大坦克車廠成爲一片瓦礫場其他如化學工廠穀倉硝皮場皆已炸成碎片地面之上滿佈地雷碉堡電網所在皆是雖然如是但吾軍業已突入敵軍之防區史達林格勒城早已不成其爲重要軍備之中心矣

【語釋】

〔史城〕スターリングラード、「史達林格勒」とも書く。〔滿佈〕一面佈設す。〔碉堡〕トーチカ。〔電網〕鐵條網。〔觸目皆是〕目に觸れる處は皆これである。〔特萊斯婁〕獨逸の新聞記者。

者の名「トライスラウ」か。〔渠〕彼。〔轟炸機〕爆撃機。〔投擲〕投下する。〔炸彈〕爆彈。〔淪爲〕陥ちて……となる。〔伏爾加河〕ヴォルガ河。〔被毀〕毀せラル。〔坦克車廠〕戰車工場、「廠」工場の意。〔瓦礫場〕瓦や小石の置場の意なり、價值なきものにたとへる。〔硝皮場〕皮革工場。〔所在皆是〕到る處皆これである。

【訓讀】

史城ノ現狀

廢墟中ニ地雷ヲ滿佈ス、碉堡電網觸目皆是ナリ

德國戰事記者特萊斯婁（トライスラウ）ハ德國轟炸機ニ乗ジ、史達林格勒戰線ニ赴キ飛行一週セル後、渠ハ戰事ノ情況ヲ述ベテ稱ス。德機ハ蘇軍砲兵陣地及ビ工業設備ニ向ヒ炸彈數百枚ヲ投擲ス。若干ノ港口設備ハ已ニ淪ジテ廢墟ト爲ル。伏爾加河（ボルガ河）中ニハ已ニ運油船ノ往來ヲ無クシ、油庫火ヲ起シ、鐵道毀セラレ（被）、蘇聯第二ノ大坦克廠ハ一片ノ瓦礫場ト成爲ス。其他化學工廠、穀倉、硝皮場ノ如キモ皆已ニ炸シテ碎片ト成ル。地面ノ上地雷ヲ滿佈シ、碉堡電網所在皆是ナリ。是ノ如ク然リト雖モ、但シ吾軍ハ業（ステニ）ニ已ニ敵軍ノ防區ニ突

入ス。史達林格勒城ハ早ヤクモ已ニ其軍備ヲ重要ト爲スノ中心ト成ラザリキ。
【譯文】

スターリングラードの現状

廢墟跡に一面地雷を佈設す

滿目一面のトーチカ並に鐵條網

獨逸戰事記者トリスラウ氏は獨逸爆撃機に搭乘し、スターリングラード戰線を飛行一週せる後、戰事情況を次の如く述べて居る。獨逸機は蘇聯軍砲兵陣地並に工業施設に對し爆彈數百彈を投下した。この爲若干の港灣施設は已に廢墟と化した。ボルガ河には最早油槽船の姿なく、石油タンクは火災を起し、鐵道は破壊され、蘇聯第二の大戰車工場は一大瓦礫場と化し全く無用となつた。其他化學工場、穀倉、皮革工場等の如きも皆爆破し吹飛ばされた。地上には一面地雷を佈設し、到る處トーチカや鐵條網がある。然し乍ら我軍は已に敵軍の防衛地區内に突入した。この爲スターリングラード市は最早軍事上重要中心地點たるの面目を失つたと。

(一五)

第一集團軍舉行秋季大檢閱

由李總司令親自指揮

第一集團軍爲加強部隊戰鬪效能及制式訓練特於上月卅日上午八時在泰城南郊舉行秋季大檢閱及作戰演習蘇北各師師長各縣縣長因出席蘇北會議均被邀參觀作戰演習由李總司令親自指揮攻擊部隊防地駐守茶庵由廿五廿六廿七三師擔任防禦部隊駐守約距離四千公尺之東麥莊由廿四師擔任攻擊令開始後即由兩路左右翼前進兩兵相接衝鋒肉搏情形逼真繼即開始閱兵各健兒精神飽滿動作齊整旋由南部司令官及行營高參謀長等訓練認爲成績良好頗多勛勉

【語釋】

〔由〕「……ニ由リ……セラル」又は「……ニ由リ……ス」と訓む、……が……するの意。〔泰城〕泰縣。〔蘇北〕江蘇省北部地區。〔被邀〕邀（ムカ）ヘラレル（被）、招待される。〔防

地〕防衛。〔茶庵〕地名。〔東麥莊〕地名。

〔衝鋒〕突擊。〔肉搏〕肉彈相搏つ。〔繼〕「ツ

イデ」と訓み。引續きの意。〔精神飽滿〕精神緊張、元氣潑洩。

〔施〕「ツイデ」と訓み、其

【訓讀】

第一集團軍秋季大檢閲ヲ舉行ス

李總司令ニ由リ親シク自ラ指揮セラル

第一集團軍ハ部隊ノ戰鬪效能及ビ制式訓練ヲ加強スル爲、特ニ上月卅日上午八時ニ（於）泰城南郊ニ在リテ、秋季大檢閲及ビ作戰演習ヲ舉行ス。蘇北各師師長、各縣縣長ハ蘇北會議ニ出席スルニ由リ均シク邀ヘラレ（被）參觀ス。作戰演習ハ李總司令ニ由リ親シク自ラ指揮セラル。攻撃部隊ハ茶庵ヲ防地駐守シ、廿五、廿六、廿七ノ三師ニ由リ擔任セラル。防禦部隊ハ約距離四千米ノ東麥莊ヲ駐守シ、廿四師ニ由リ擔任セラル。攻撃令開始後ハ即チ兩路由リ左右兩翼前進シ、兩兵相接シ、衝鋒肉搏シ、情形眞ニ逼ル。繼デ即チ閱兵ヲ開始ス。各健兒精神飽滿、動作整齊ナリ。旋（ツイ）テ南部司令官及ビ行營高參謀長等ニ由リ訓練セラレ、成績良好ニシテ頗

ル勗勉ヲ多クスト認爲セラル。

【譯文】

第一集團軍秋季大檢閲を舉行

李總司令官自ら指揮す

第一集團軍は部隊の戰鬪效能及び制式訓練を加強する爲、特に先月三十日午前八時に泰城南郊に於て秋季大檢閲及び作戰演習を舉行した。江蘇省北部地區の各師團長、各縣長等は江蘇省北部地區會議に出席中の爲、招待され參觀した。作戰演習は李總司令官が自ら指揮した。攻撃部隊は茶庵を防禦守備し、廿五廿六廿七師の三師がこの任務を擔當した。防禦部隊は距離約四千米の地東麥莊を守備し、廿四師が任務を擔當した。攻撃命令開始後は直ちに兩路より左右翼前進し、兩軍相接し、突撃を敢行、肉彈相搏ち、さながら實戰の感があつた。引續き直ちに閱兵が開始された。各健兒は元氣旺盛、動作整齊であつた。これに引次ぎ南軍司令官及び司令部高級參謀長等の訓練を受けたが、その成績良好にして、頗る精勵と認められた。（……が訓練したが、成績良好にして、頗る精勵と認めた）

增進效率懲治貪汚

市府組設考績委會

並組視察團分往各機關考核

滬市府自陳市長蒞任以來勵精圖治興利除弊所屬員司多能努力從公陳市長爲強調促進行政效率懲治貪汚起見經市政會議通過組設市府考績委員會除規定每年六月十二月定期考績外並組巡迴考察團按月分赴所屬機關實地考察注意於公務員品性之淑惡操守之邪正才能之優劣及有無專門技術各點陳市長并遴派伍朝柱戴德程進修王錫昌徐潮五人爲該會委員指定伍朝柱主任委員所有該會各項章則及幹部人員選用問題刻當在縝密研究中不久當可籌組成立。

【語釋】

〔貪汚〕「貪官汚吏」の略「貪官」とは貪慾なる官吏、「汚吏」とは不正なる官吏。〔考績委會〕

勤務成績を調査する委員會の略。〔分往〕夫夫赴く。〔考核〕調査す、監査する、「核」とは調査する意。〔蒞任〕就任。〔勵精圖治〕精勵し善政を圖る。〔興利除弊〕産業を興し疲弊を除く。〔員司〕係員。〔除...外〕「...スルヲ除クノ外」と訓み...するは勿論。〔按月〕毎月。〔淑惡〕善惡。〔操守〕身持、行爲。〔遴派〕推薦する。選技派遣する。〔所有〕「アヲユル」と訓み、あらゆる。全ての意。〔刻〕「刻下」目下。〔籌組〕計畫し組織す。

【訓讀】

効率ヲ增進シ貪汚ヲ懲治スルタメ

市府考績委會ヲ組設シ

並ニ視察團ヲ組シ各機關ニ分往シ考核ス

滬市府ハ陳市長蒞任自リ以來、精ヲ勵ミ治ヲ圖リ、利ヲ興シ弊ヲ除キ、所屬員司多ク能ク努力シ公ニ從フ。陳市長ハ行政効率ヲ促進シ貪汚ヲ懲治スルヲ強調スル爲ニ見ヲ起シ、市政會議ノ通過ヲ經テ市府考績委員會ヲ組設ス。毎年六月十二月ヲ規定シテ定期考績スルヲ除クノ外、並ニ巡迴考察團ヲ組シ月ニ按ジ所屬機關ニ分往シ實地考察シ、公務員品性ノ淑惡、操守ノ邪正、

才能ノ優劣、及び専門技術ノ有無各點ニ注意ス。陳市長ハ竝ニ伍朝柱、戴德、程進修、王錫昌、徐潮ノ五人ヲ遴派シ該會委員ト爲シ、伍朝柱ヲ指定シテ主任委員ト爲ス。所有（アラユル）該會各項ノ章則及び幹事人員ノ選用問題ハ刻當（マサニ）ニ縝密研究中ニ在リ、久シカラズシテ當ニ籌組成立スベシト。

【譯文】

勤務能率を増進し不正官吏を處分する爲

市政府は考績委員會を設けた。

尙視察團を組織し、各機關に各々出張し調査をすることとした。

上海市政府は陳市長が就任してからと云ふものは、勵精善政を圖り、産業を興し疲弊を除き、所屬係員も多く務めて努力し公務に従事するようになった。陳市長は行政能率を促進し、不正官吏を處分することを強調する見地から、市政會議の通過を経て、市政府考績委員會を組織した。毎年六月と十二月に定期的に考績することを決定すると共に、巡廻考察團を組織して、毎月所屬各機關に各々出向し、實地に考察して、公務員の品性の善悪、行爲の正不正、才能の優

劣、及び専門技術の有無等の各項について注意することとした。陳市長は尙伍朝柱、戴德、程進修、王錫昌、徐潮等の五名を該會の委員に推薦し、伍朝柱を主任委員に指名した。すべての該會の各項章則竝に幹事人員の選任問題については、目下詳細研究中であるからして、其の内決定成立するだらうと。

(一七)

魯鄂各地我軍

進剿蠢動渝匪

偽「旅長」常振山部被擊潰

頃據軍事委員會發表各地剿匪捷報如下：一、曹縣我駐軍於十八日午後二時派某部向仍在徐河帥樓小李海西南盤據之游匪七八百名進剿但激戰後將徐河帥樓佔領匪偽傷亡甚重狼狽向東南方向潰竄我軍仍在進擊中又游匪殷海洲張棟臣于飛各股盤據於浮崗集巨集一帶者時圖蠢動經我某部派隊於十七日晨進剿掃蕩匪不支分頭潰竄我

正四出團剿中。二、游匪常振山股約二千餘名附輕重機關槍八九挺廿日申刻向正在進剿各股匪之我軍某部猛攻另以一股沿大堤迂襲當由某部派隊分別迎擊激戰一時餘斃匪甚衆戊刻匪又集隊向我包圍勢態我官兵奮勇拚殺鏖戰約五小時卒將大股游匪擊潰是役匪傷亡甚重遺棄尸身數十具匪首常振山係渝僞「山東保安第七旅旅長」腿臂受重傷我陣亡士兵二名傷官兵數名。三、湖北渝游擊隊王經堂部千餘人竊據廣水附近余家店西孤山一帶經我當地駐軍偵悉立予圍剿匪不支潰退余家店孤山一帶當被我軍佔領是役計斃匪十五名傷三十餘名俘匪兵二名獲步槍十三枝手槍三枝

【語釋】

〔魯〕山東省の別名。〔鄂〕湖北省の別名。〔進剿〕進撃し討伐する。〔渝匪〕重慶側の匪賊。重慶軍。〔僞旅長〕「僞」とは中國國民政府側より重慶派を指す時に用ふる。即ち重慶軍旅團長の意。尙重慶側より國民政府軍及び滿洲軍を指す時にも「僞」の呼稱を用ふることがある。主として敵側の新聞に見ゆ。〔剿匪〕匪賊討伐。〔捷報〕至急情報。〔曹縣〕山東省にある縣

名〔仍〕「ナホ」と訓む。相變らずの意。〔徐河帥樓〕地名。〔小李海〕地名。〔游匪〕游擊匪の意。〔將〕「マサニ」と訓む。〔將〕を「マサニ」セントス」と訓む時は「將」の後に動詞が附くからこの點注意を要す。〔潰竄〕潰走する。〔股〕組、黨、團。〔不支〕敵せず、支へず。〔分頭〕各人分散する。〔四出〕東西南北に出る、各地に在りて。〔圍剿〕包圍攻撃する。〔申刻〕申（サル）の刻、午後四時頃。〔另〕別に。〔大堤〕大きい河堤。〔迂襲〕迂回襲撃する。〔戌刻〕戌（イヌ）の刻 午後八時頃。〔拚殺〕命を投げ敵を殺す。〔鏖戰〕敵をみな殺しにするまで大いに力を盡して戦ふ。〔五小時〕五時間。〔卒〕つひに。〔尸身〕死體。〔具〕死體を數へる陪伴詞。〔陣亡〕戦死。〔偵悉〕探知する。〔立〕「立刻」ただちに。

【訓讀】

魯鄂各地ノ我軍

蠢動渝匪ヲ進剿ス

僞「旅長」常振山部擊潰セララル（被）

頃（コノゴロ）軍事委員會發表ノ各地剿匪捷報ニ據ルニ下ノ如シ。（一）曹縣ノ我駐軍八十八

日午後二時ニ（於）某部を派シ、仍（ナホ）徐河帥樓、小李海西南ニ（在）盤據セル游匪七八百名ニ向ツテ進剿ス。但シ激戦ノ後徐河帥樓ヲ（將）佔領ス。匪偽ノ傷亡甚ダ重ク、狼狽シ東南方向ニ向ツテ遺竄ス。我軍仍（ナホ）進撃ニ在リ。又游匪殷海洲、張棟臣、于飛各股ノ浮崗集、巨集一帯ニ（於）盤據セル者ハ、時ニ蠢動ヲ圖ルモ、我某部ヲ經テ隊ヲ派シ十七晨ニ（於）進剿掃蕩ス。匪支ヘズ頭ヲ分チ潰竄ス。我正ニ四出圍剿中ナリ。（二）游匪常振山股約二千餘名ハ輕重機關槍八九挺ヲ附シ、二十日申ノ刻、正ニ各股匪を進剿シ在ル我軍某部ニ向ツテ猛攻シ、另（ベツ）ニ一股ヲ以テ大堤ニ沿ヒ迂襲スルモ、當ニ某部ヨリ（由）隊ヲ派シ分別迎撃シ激戦一時餘斃匪甚ダ衆シ。戌ノ刻、匪又隊を集メ我ニ向ツテ包圍勢態ス。我官兵奮勇拚殺、鏖戦約五小時、卒ニ大股ノ游匪ヲ擊潰ス。是ノ役ニ匪ノ傷亡甚ダ重ク、遺棄セル尸身十具、常振山ハ渝僞「山東保安第七旅旅長」ニ係ル、腿臂ニ重傷ヲ受ク。我陣亡兵二名、傷官兵數名。（三）湖北ノ渝游撃隊王經堂ノ部千餘人ハ、竊ニ廣水附近余家店西孤山一帯ニ據ルモ、我當地駐軍ヲ經テ偵悉セラレ、立（タダチ）ニ圍剿ヲ予フ。匪支ヘズ潰退シ、余家店孤山一帯ハ當ニ我軍ニ佔領セラル（被）。是ノ役ニ計斃匪十五名、傷三十餘名、俘匪兵二名、獲スル步槍十三枝、手槍三枝。

【譯文】

山東省湖北省各地に於て我軍（國民政府軍を指す）

は蠢動せる重慶軍匪を攻撃討伐す

僞「旅長」常振山部隊擊退潰滅せらる。

最近の軍事委員會發表の各地の剿匪至急情報に據れば次の如し。

（一）曹縣駐屯の我軍は十八日午後二時某隊を派遣し、目下徐河帥樓、小李海西南地區に盤據せる游撃匪七八百名に對し攻撃を開始す。激戦の後徐河帥樓を佔領せり。敵の傷死者甚だ多く狼狽し東南に向つて潰走す。我軍目下追撃中なり。又浮崗集、巨集一帯に盤據し、常に蠢動せる游撃匪殷海洲、張棟臣、于飛の各團に對しては、我軍は部隊を派遣し、十七日早朝攻撃掃蕩す。敵匪敵せず分散潰走す。我軍目下各地に包圍討伐中なり。

（二）游撃匪常振山部隊約二千餘名は輕機、重機計八九挺を以て、二十日午後四時頃、各匪團を追撃中の我軍部隊に對し猛攻し來り、別に一隊を以て、堤防を迂回來襲し來るも、直ちに某

部隊より兵を分遣し邀撃す。激戦一時間餘、斃匪極めて多し。午後八時頃敵匪再び部隊を集結し、我軍に對し包圍態勢を採る。我軍將兵勇戰奮闘、敵匪を皆殺するの勢あり。力戰約五時間卒に游撃匪の大團を潰滅せり。この戦鬪に於ける敵匪の傷死甚だ多く、遺棄死體數十有り。匪首常振山は重慶軍「山東保安第七旅旅長」にして、本戦鬪にて腿及び臂に重傷を受く。我軍戦死者下士以下計二名、負傷者將校以下數名。

(三) 湖北省重慶軍游撃隊王經堂部隊一千餘名は、竊に廣水附近、余家店、西孤山一帶に盤據中なるも、我當地駐屯軍に探知せられ、直ちに包圍攻撃せらる。敵匪敵せず潰走し、余家店孤山一帶は、我軍に佔領せらる。この戦鬪に於て敵匪の戦死計十五名、負傷者三十餘名、捕虜兵卒二名、捕獲せる歩兵銃十三、拳銃三。

(一八)

南市具呈市府嚴禁花會

花會之流毒社會盡人皆知市民溺於是項賭博而致傾家蕩產者迭有所同南市區公署自

厲禁賭博以來全區賭風已殺但花會仍秘密開放所謂航船聽筒觸處皆是該區公署第三科科長姚子胥氏前曾具呈南市區公署請求實行禁止以維區內治安該署據呈後特於前日具呈市政府核辦外對於全區開設聽筒刻已依次調查完竣一俟市府核准即行着手查封云

【語釋】

〔南市〕 上海の南にある區域の地名。〔具呈〕 申請する、「具」は書類をととのへること、「呈」は上級官廳に文書を差出すこと、その文書を「呈文」と云ふ。〔花會〕 一種の賭博名。〔盡人皆知〕 總ての人皆知つて居る。〔迭有所同〕 屢々同様の事あり。〔厲禁〕 嚴禁す。〔仍〕 尙ほ依然として。〔航船聽筒〕 花會の専門語で賭博を媒介し總括する者を「總筒」と云ふ。而して花會は賭博人が一所に集まつて爲すのではなく賭場の者が各人の所を廻つて賭けを取りつき、又この結果を通知したりするもので、この仕事をする者を「航船」「聽筒」と云ふ。又この賭博を指す。〔觸處皆是〕 何處も皆同様。〔以維〕 以て……を維持す。〔據呈〕 呈文を受取る。〔據〕 は上級者又は上級官廳が下級の者又は下級官廳ありの文書に接すること。ここでは區公署第三

科長よりの呈文を受取つたこと。「前日」一昨日。「核辦」取調べ處置する。「核」は調査する。「依次」次第に。「一俟」一たび……を待つて。「查封」差押へる。

【訓讀】

花會ノ社會ニ流毒スルハ盡クノ人皆知ル、市民是ノ項ノ賭博ニ（於）溺シ而シテ傾家蕩産ヲ致ス者迭（シバシバ）同ジクスル所有リ。南市區公署ハ賭博ヲ厲禁シテ自リ以來全區ノ賭風已ニ殺ス、但シ花會ハ仍ホ秘密ニ所謂船航聽筒ヲ開放シ觸處皆是ナリ。該區公署第三科科长姚子胥氏ハ前ニ會テ南市區公署ニ具呈シ、禁止ヲ實行シ以テ區内ノ治安ヲ維センコトヲ請求セリ。該署ハ呈ニ據リテ後、特ニ前日ニ（於）市政府ニ核辦ヲ具呈セル外、全區ノ開設セル聽筒ニ對シ刻已ニ依次調査究竣シ、一タビ市府ノ核准ヲ俟チ查封ニ着手スルヲ行フト云フ。

【譯文】

花會の嚴禁、南市、市政府に申請す

花會の社會に害毒を及ぼすことは誰人も知るところであり、市民にして此の種の賭博に溺れ家産を蕩盡する者屢々見受けるところである。南市區公署が賭博を嚴禁して以來市全體の賭博は

既に減少したるも、但し花會のみは依然として所謂「航船聽筒」を隨所に設けて居る。南市區公署第三科科长姚子胥氏は先に南市區公署に呈文を差出し禁止を實行し以て區内の治安維持を計らんことを陳情す。南市區公署は右呈文を接受して後特に一昨日上海市政府に取調べの上善處方を呈請し、且つ全區内の花會に對しては既に順次調査を完了し市政府の許可を待つて即刻差押へに着手するとの由。

（一九）

舉世關懷之蔣委員長已於二十五日下午五時三刻由西安乘蓉克斯巨型機平安抵洛蔣夫人宋美齡女士及宋子文同來聞該機係於下午三時由西安起飛另由飛機四架護送至潼關五時半該機到達洛陽在天空環繞一週始安降西宮機場蔣委員長等下機後即分乘汽車逕赴軍分校官邸休息當委座到洛消息傳出後全洛民衆歡呼若狂各街懸旗誌慶鞭砲之聲不絕於耳熱烈情況爲向所未有

【語釋】

〔關懷〕氣に掛ける。〔由〕…より。〔蓉克斯〕ロックヒード。〔平安抵洛〕無事に洛陽に到着す。〔係〕「カカハル」と訓み、…であるの意。〔安降〕安着。〔即〕ただちに。〔逕赴〕眞直に赴く。〔委座〕委員長。〔誌慶〕喜びを表す。〔鞭砲〕爆竹、目出度き時打鳴す。〔向〕「サキニ」と訓み、今迄の意。

【訓讀】

舉世關懷ノ蔣委員長ハ、已ニ二十五日午後五時三刻ニ（於）、西安自リ蓉克斯巨型機ニ乗ジ平安洛ニ到ル。蔣夫人宋美齡女士及ビ宋子文同（トモ）ニ來ル。聞クニ該機ハ下午三時西安ヨリ起飛スルニ係リ、另ニ飛機四架ニヨリ護送サレ潼關ニ至リ、五時半該機ハ洛陽ニ到達シ、天空ニ在リテ環繞スルコト一週始メテ西宮機場ニ安降セリ。蔣委員長等機ヨリ下リクル後、即チニ汽車ニ分乗シ軍分校官邸ニ逕赴シ休息ス。委座洛ニ到ルノ消息傳出後ニ當リ、全洛民衆ノ歡呼狂スルガ如ク、各街ハ旗ヲ懸ケ慶ヲ誌シ鞭砲ノ聲耳ニ絶ヘズ。熱烈ナル情況ハ向（サキ）ニ未ダ有ラザル所ト爲ス。

【譯文】

世間舉げて氣に掛けし蔣委員長は已に二十五日午後五時四十五分西安よりロックヒード大型機に乗じ無事洛陽に到着す、蔣夫人宋美齡女士及び宋子文等も同行す。聞く處に據るに、同機は午後三時西安を出發し別に飛行機四臺に護送され潼關に至り五時半に同機は洛陽に到着し、天空を一回旋回し西宮飛行場に安着す。蔣委員長等は飛行機より下り、直ちに自動車に分乗し軍分校官邸に直行し休息せり。委員長來洛の報に接してより、全洛陽民衆は熱狂せる如く歡呼し各街路は旗を掲げ慶祝を表し、爆竹の音は連続的に鳴り響き、熱烈なる情況は今迄且て無い位と言ふ。

(110)

陳市長昨發表談話

絕對禁止滬西賭博

仍敢陽奉陰違者即予嚴懲不貸

近日外傳滬西賭風重熾復有私設賭台情事因往訪本市陳市長叩詢一切當承見告略謂

前此時局未定之際本市行政警務均未能循正軌滬西確有賭館多處自本人到任以後一面即向工部局收回越界築路地帶之滬西警權隨即設立特警局及財政辦事處一面即厲行整飭市政嚴禁烟賭立予閉逐滬西烟賭因而絕跡雖愍不畏法之徒間有私設亦即隨時破獲按律嚴懲即友邦憲警亦均深表同情隨時協助兩年以來始終不變蓋滬西住宅區自應養成良好之市風絕對指定爲禁賭區域無論如何不容弛禁倘敢私設定予緝辦

【語釋】

〔滬西〕上海西部地域、「滬」は上海の別名。〔仍〕「ナホ」と訓む。〔陽奉陰違〕表面は遵法した如く装ひ裏面に在りて違背する。〔嚴懲〕嚴罰。〔不貸〕赦さず。〔私設〕私に設ける。〔賭臺〕賭博場。〔叩詢〕質問す。〔見告〕解答。〔循正軌〕正常に復する、軌道に乗る。〔越界築路〕租界境界外に建設された道路、所謂「エクステンション」の事。〔隨即〕即（タダ）ちに。〔一面…一面〕一方…すると共に他方…する。〔整飭〕整頓する、整備する。〔烟賭〕阿片と賭博。〔立〕立ちどころに、「立刻」の意。〔閉逐〕閉鎖立退き。〔愍〕憐れに

も、憐む。「愍不畏法」斯る禁止法令のあるを知らない爲法を畏れないのを憐む。〔間〕まま。時折。〔按律〕法律に照し。〔自應〕自から應に…すべし。〔不容〕客謝せず。〔弛禁〕禁令を弛める。〔倘敢〕若し敢て…せば。〔緝辦〕捕縛し罪に處す。

【訓讀】

陳市長昨談話ヲ發表シ

絕對ニ滬西ノ賭博ヲ禁止ス

仍（ナホ）敢テ陽奉陰違スル者ハ即チに嚴懲ヲ予ヘ貸サズ。

近日外ニ滬西ノ賭風重ネテ熾ニシテ、復私ニ賭臺ヲ設クル情事有ルヲ傳フ。本市陳市長ヲ往訪シ一切ヲ叩詢スルニ因リ當ニ見告ヲ承ル。略謂フ。前ニ此事局未定ノ際ニ、本市ノ行政警務ハ均シク未ダ正軌ニ循フ能ハハズシテ滬西ニ確ニ賭館多處有リ。本人任ニ到リテ自リ以後、一面即チ工部局ニ向ツテ越界築路地帶ノ滬西警權ヲ收回シ、即ニ隨ヒ特警局及ビ財政辦事處ヲ設立シ、一面即チ市政ヲ整飭スルヲ厲行シ、烟賭ヲ嚴禁シ立（タダ）チニ閉逐ヲ予ヘタリ。滬西ノ烟賭因リテ而シテ跡ヲ絶テリ。愍ニモ法ヲ畏レザルノ徒間ニ私設スル有ルト雖モ、亦即チ隨時

破獲シ律ニ按シ嚴懲ス。友邦憲警モ亦均シク深ク同情ヲ表シ、隨時協助シ兩年以來始終變ラズ。蓋シ滬西ハ住宅地ヲ爲シ自ラ應ニ良好ノ市風ヲ養成スベク、絶對ニ指定シテ禁賭區域ト爲シ、如何ヲ論ズルコト無ク弛禁ヲ容レズ。倘シ敢テ私設セバ定メテ緝辦ヲ予フ。

【譯文】

陳市長昨日談話を發表し斷乎として

滬西地域の賭博を禁止した。

相變らず表面履行を装ひ裏面にありて違反する者は直ちに嚴罰に處し、容謝せずと。

最近外部に滬西地域に賭博の風習が再燃し、又私に賭博場を開設して居るとの噂が傳へられて居る。本市陳市長を訪問し真相を質問した所、次の様な談話を得た。曩日事局未定の際には、本市の行政、警務は未だ正軌に復して居らなかつたので、確に滬西地域には多くの賭博場が存在して居た。自分が着任してからは、直ちに工部局より越界築路地帯の滬西警察權を回收し、即時特警局及び財政辦事處を設立すると共に、市政の整備を勵行して阿片吸飲及び賭博を嚴禁

し、これに對し直ちに閉鎖をあたへた。滬西地域の阿片吸飲及び賭博はこの爲根絶するに至つた。然し不幸にも法を畏れない徒輩が時折私設することが有るが、これに對しても亦、隨時發見次第逮捕し、法に依り嚴罰に處する次第である。友邦の憲兵、警察官も深く同情の意を表し隨時協力し、二ヶ年以來終始變らない有様である。思ふに滬西地域は住宅區域であるので、當然良好の市風を養成すべきであつて、絶對的にここを禁賭區域と指定して、如何なる事情があるとも、禁令を弛めることはしない。若し私説することがあれば必ず拿捕し處分する次第である。

(一一一)

毅然脫離渝方羈絆

崇蘭溪氏赴京投誠

謁 主席致敬並發表談話

渝方治下之「江蘇省黨部執行委員」第三戰區第二游擊區總指揮部同中將主任秘

書」 「國民大會代表」 崇蘭溪氏因感受汪主席偉大人格之感召傾心和運昨已來京除晉謁主席致敬外並分謁有關之當局報告渝方行將崩潰之各情本社記者往訪承發表談話如次「蘭溪參加本黨垂廿年服膺三民主義在汪主席暨諸先進領導之下從事革命工作中經黨國多故迭受挫折而擁護汪主席護黨愛國之主張始終如一此次主席爲拯救中華民族及謀整個東亞福祉計倡導和平反建國運動蘭溪因在渝方羈絆之下未克及時參加但對蔣氏之一味依賴英美盲目拖延抗戰認爲徒利共黨徒苦吾民徒加深中日兩大民族之裂痕徒貽我子孫無窮之禍害傾心和平已非一日渝方黨政軍各界明哲人士抱此同樣觀感而傾向全面和平者實繁有徒惟一面以狎於私情或拘於環境未便直接行動一面對中日合作之實際程度和平區內之現實情況未能確切明瞭故雖來歸有心仍不免逡巡徬徨也

【語釋】

〔渝方〕重慶側。〔羈絆〕束縛。〔赴京〕南京に赴く、時代により「京」は北京を指すことがある

〔投誠〕歸順す、降服する。〔致敬〕挨拶を言ふ。〔感召〕感化。〔晉謁〕面謁する。〔分謁〕夫夫訪問面接する。〔有關〕關係有る。〔行將〕「マサニ」又は「ユクユクマサニ」と訓み、未來を表す助動詞。〔垂〕なんなんとする。〔多故〕種々の事故。〔迭〕しばしば。〔爲〕計「ノ」計ノ爲メニ「ノ」爲メニ計ルニ」と訓み、「爲」起見も同義、…の見地より。〔拯救〕救済する。〔整個〕全ての。〔未克〕「未ダ」ヲヨク(克)セズ」又は「未ダ克ク…セズ」と訓み、未だ…するを得ずの意。〔一味〕「一味的」一圖に。〔拖延〕長く延ばす。〔裂痕〕龜裂、不和。〔貽〕のこす。〔已非一日〕「已ニ一日ニアラズ」と訓む、多年に及ぶの意。〔實繁有徒〕實際多くの人があつた。〔惟〕「タダ」と訓む。然し乍らの意。〔狎於〕…に(於)狎れる。〔未便〕「未ダ…スルニ便ナラズ」と訓み、未だ…することが困難であつたとの意。〔不免〕「マヌカレズ」と訓み、止むを得ない次第である、今なほ…して居るの意。

【訓讀】

毅然ト渝方ノ羈絆ヲ脱離シ

崇蘭溪氏京ニ赴キ誠ニ投ズ

一三〇

主席ニ謁シ敬ヲ致シ並(ナラビ)ニ談話ヲ發表ス。

渝方治下ノ「江蘇省黨部執行委員」「第三戰區第二游擊區總指揮部同中將主任秘書」「國民大會代表」崇蘭溪氏ハ、汪主席ノ偉大ナル人格ノ感召ヲ感受シテ因リ、心ヲ和運ニ傾ケ、昨已ニ來京シ主席ニ謁シ敬ヲ致スヲ除クノ外、並ニ有關ノ當局ニ分謁シ、渝方ノマサニ(行將)崩潰セントスル各情ヲ報告セリ。本社記者往訪シ發表セル談話次ノ如キヲ承ク。

「蘭溪本黨ニ參加シ廿年ヲ垂ル。三民主義ヲ服膺シ、汪主席暨ビ諸先進ノ領導ノ下ニ在リテ革命工作ニ從事ス。中ニ黨國ノ多故ヲ經テ迭(シバシバ)挫折ヲ受ク。而シ汪主席ノ護黨愛國ノ主張ヲ擁護シ始終一ノ如シ。此次主席ハ中華民族ヲ拯救シ、及ビ整個ノ東亞ノ福祉ヲ謀ル計ノ爲ニ、和平反共建國運動ヲ倡導ス。蘭溪渝方ノ羈絆ノ下ニ在ルニ因リ、未ダ時ニ及ビ參加スルヲ克(ヨ)クセズ。但シ蔣氏ノ一味ニ英美ニ依頼シ、抗戰ヲ盲目拖延スルニ對シテハ、徒ニ共黨ヲ利シ、徒ニ吾民ヲ苦シメ、徒ニ中日兩國人民ノ裂痕ヲ加深シ、徒ニ我子孫ニ無窮ノ禍害ヲ貽スト認爲シ、心ヲ和平ニ傾ケルコト已ニ一日ニ非ズ。渝方ノ黨政軍各界ノ明哲人士ニシ

テ、此ノ同様ノ觀感ヲ抱キ、而シテ全面和平ニ傾向スル者、實ニ繁ク徒有リ。惟(タダ)一面私情ニ(於)狎レ、或ハ環境ニ(於)拘スルヲ以テ、未ダ直接行動スルニ便ナラズ。一面中日合作ノ實際程度、和平區内ノ現實情況ニ對シ未ダ確切明瞭ニスル能ハズ。故ニ來歸ハ心有ルト雖モ、仍(ナホ)逡巡傍徨スルヲ免レザル也」ト。

【譯文】

毅然と重慶側の束縛を離脱し

崇蘭溪氏南京に赴き歸順す。

主席に面謁の上挨拶を致し、尙談話を發表す。

重慶派の「江蘇省黨部執行委員」「第三戰區第二游擊區總指揮部同(姓名)中將主任秘書」「國民大會代表」崇蘭溪氏は、汪主席の偉大な人格の感化を受け心を和平運動に傾け、昨日南京に到着主席に面謁し挨拶を申述べると共に、關係當局に夫夫面接し、重慶政府の崩潰せんとする情況を報告した。本社記者は氏を訪問し、次の如き談話を得た。

「自分(蘭溪)は國民黨に參加してより、今日まで廿年になんなんとして居る。三民主義を

信奉し、汪主席や各位の先進指導者の下にありて革命工作に従事した。中途にあつて國民黨國家としての多くの事故を受け、しばしば挫折するに到つた。然し乍ら汪主席の護黨愛國の主張を擁護し、終始變ることなく一貫してやつて來た。此次主席は中華民族を救済し、全東亞の福祉を謀る見地より、和平反共建國運動を提唱指導されるに到つた。自分（蘭溪）は重慶政府の束縛を受けて居た爲、當時はそれに參加するを得なかつたが、然し蒋介石氏の一圖に米英に依存し、盲目的に長期抗戰を計ることに對しては、これは徒に共產黨を利し、吾中國の民族を苦しめ、中日兩國人の不和を深くし、吾子孫に無窮の害禍をのこすものと認め、心を和平に致したことは已に久しい以前からのことであつた。重慶の國民黨政界、軍部各界の明哲の人士にして、同様な觀念を以て、心を和平に傾ける者は、實に多くの數にのぼる次第である。然し一面私情に狎れ、或は環境に拘束されて、直接行動を爲すには到らなかつた。又一面中日合作の實際程度、及び和平地區内の現情に就ても、確實に認識を明瞭にするを得なかつた。従つて來歸心はあるも、今尙逡巡徬徨せる次第である」と。

(一一一)

宣布戒嚴布告

爲布告事現在時局不靖奉令宣布某處臨時戒嚴本司令既負維持地方治安責任亟應遵照戒嚴法切實奉行爲此布告各色人等知悉務宜各安生意毋得自相驚擾妨害公安倘有不肖之徒觸犯後列各條情事立即嚴拿按照軍法從重懲辦決不稍事寬容除分飭軍警嚴密稽查外仰即一體凜遵毋違切切計開（一）私販手槍子彈及私藏軍械軍火（一）接濟匪黨者（一）窩藏匪類者（一）暗結黨衆散布謠言搖惑人心者（一）冒充軍人招搖滋事者

【語釋】

〔爲布告事〕「布告ノ爲メノコト」と訓み、布告文の頭に附ける形式語。〔不靖〕不安、多端。〔既〕「既ニ」と訓み……した以上の意。〔亟〕「スミヤカニ」と訓む。〔遵照〕遵奉す。〔知悉〕承知する。〔務宜〕「務メテ宜シク……スベシ」と訓む。〔生意〕生業。〔毋得〕「得ル母

レ」と訓む、…するの意。〔驚擾〕驚き騒ぐ、擾亂する。〔倘〕「モシ」と訓み、若しの意。〔觸犯〕抵觸する。〔立即〕「立ちドコロニ即チ」と訓み、早速の意。〔嚴拿〕嚴に拿捕する。〔按照〕準據する、照らす。〔從重〕重ニ從ヒ」と訓み、嚴重に。〔稍事〕毫も。〔力飭〕力メテ…スルヲ飭スル」と訓み、命ずるの意。〔稽查〕調査する〔除…外〕「…ヲ除クノ外」と訓み、…するは勿論の意。〔仰〕…「セシム」又は「スベシ」と訓む、命令詞。〔凜遵〕つつしみ遵ふ。〔切切〕「切ニ切ニス」と訓み、布告文の文尾に附し、懇切強張する意に用ふ。〔計開〕箇條書にし項目を並べる場合にこの語を用ふ。〔附記〕位の意。〔私販〕密賣。〔軍械軍火〕銃器彈藥。〔接濟〕援助。〔窩藏〕隱匿する。〔暗結〕暗に結托する。〔黨衆〕匪黨輩〔搖惑〕惑はす。〔冒充〕偽りて…となる、偽稱する。〔招搖〕威張る。〔滋事〕騒動を起す

【訓讀】

戒嚴宣布ノ布告

布告ノ爲メノ事、現在事局不靖ヲ(モツテ)、令ヲ奉ジ某處ニ臨時戒嚴ヲ宣布ス。本司令既ニ地方ノ治安ヲ維持スルノ責任ヲ負フ(ニヨリ)、亟ニ應ニ戒嚴法ニ遵照シ切實ニ奉行スベク(應)、

此ノ爲ニ布告ス。各色人等知悉シ、務メテ宜シク、各生意ニ安ンジ、自ラ相驚擾シ公安ヲ妨害シ得ル母レ。倘(モ)シ不肖ノ徒有リテ、後列ノ各條情事ニ觸犯セバ、立ちドコロニ即チ嚴拿シ、軍法ニ按照シ重ニ從ヒ懲辦シ、決シテ稍事モ寛容セズ。カメテ軍警ニ嚴密ニ稽查スルヲ飭スルヲ除クノ外、即チ一體ニ凜遵セシム(仰)。違フ母レ。切ニ切ニス。

【計開】

- (一) 手槍子彈ヲ私販シ、及ビ軍械軍火ヲ私藏シ、匪黨ヲ接濟スル者。
- (一) 匪類ヲ窩藏スル者。
- (一) 黨衆ニ暗結シ、謠言ヲ散布シ、人心ヲ搖惑スル者。
- (一) 軍人ト冒充シ、招搖事ヲ滋スル者。

【譯文】

現下事局不穩なるを以て、命を奉じ某處に臨時戒嚴を宣布す。本司令官地方の地安維持の責任を負ふ以上、亟に戒嚴法を遵奉し、切實に實行すべく、此に布告を發す。各界の人士了承の上各人生業に安んじ、自ら擾亂し公安を妨害する勿れ。若し不肖の徒輩有りて、左記各條の事項

に抵觸せば、即時嚴重捕縛し、軍法に照し、嚴重に處分すべく、決して寸毫も容謝することなし。極力軍警に嚴密なる調査を命ずると共に、各人一體に遵奉せしむ。違背する勿れ。

〔附記〕

- (一) 拳銃彈藥を密賣し、銃器彈藥を隠匿し、共產黨匪を援助せる者。
- (二) 土匪輩を隠匿せる者。
- (三) 共產黨と暗に結托し、謠言を散布し、人心を攪亂せる者。
- (四) 軍人と偽稱し、横暴の行爲をなし、事件を起す者。

(二三)

安民布告

爲佈告事照得此次大日本帝國軍隊膺懲中央政權將津浦京漢各鐵路沿線首要地方業已佔領現擬我軍立指導地位使華北各省舊官員完全施行仁政切望省屬各縣政府諸職員能體斯意旨暫照舊章誠實辦理縣政維持治安萬莫疎懈如有違背毫無寬貸再者各縣

商民人等快服各自業務苟有破壞秩序造謠滋擾者我軍認作良民之仇敵從重懲辦仰各官民等一體遵照恐未週知特此佈告

【語釋】

〔爲佈告事〕「佈告ノ爲メノ事」と訓み、佈告文の形式語。〔照得〕「サテ」と訓み、佈告文の本文の前に附する形式語(發語の詞)。〔將〕「……ヲ」と訓む、「將」を「マサニ……スベシ」と訓む時は、「將」の字の次に動詞が来る故、區別が附く。〔業已〕「業(スデ)ニ已ニ」と訓み、完了の意を表はす(助動詞)。〔擬〕「マサニ……セント擬ス」と訓み、將來の計畫を表はす語。〔體〕「體會」と同義、體得する意。〔萬莫〕「萬……スル莫レ」と訓み、斷じて……すること無きよりの意。〔疎懈〕懈る。〔如有〕「モシ……有ラバ」と訓む。〔再者〕「ナホ」と訓み、再言する場各に附す語、又、尙等の意。〔商民人等〕商民及び一般人士の意。〔苟〕「苟シクモ……スレバ」と訓む。〔造謠〕謠言を散布す。〔滋擾〕騷動を越す。〔仰〕「……セシム」「……スベシ」と訓み、一種の命令詞。

【訓讀】

佈告ノ爲メノ事、サテ（照得）此次大日本帝國軍隊ハ中央政權ヲ膺懲シ、津浦、京漢、各鐵路沿線ノ首要地方ヲ（將）、業ニ已ニ佔領ス。現ニマサ（擬）ニ我軍ハ指導地位ニ立ち、華北各省舊官員ヲシテ（使）完全ニ仁政ヲ施行セシメ（使）ント擬ス。省屬各縣政府諸職員ハ、能ク斯ノ意旨ヲ體シ、暫ク舊章ニ照シ、誠實ニ縣政ヲ辦理シ治安ヲ維持スルヲ切望ス。萬（バン）疎懈スル莫レ。如シ違背スル（コト）有ラバ、毫モ寬貸スル（コト）無シ。再者（ナホ）、各縣商民人等ハ、各自業務ニ快服シ、苟モ秩序ヲ破壊シ、造謠擾ヲ滋スル者有ラバ、我軍ハ良民ノ仇敵ト認作シ、重ニ從ヒ懲辦ス。各官民等ヲシテ（仰）一體ニ遵照セシム（仰）。未ダ週知セザルヲ恐レ、特ニ此ニ佈告ス。

【譯文】

今回大日本帝國軍隊は、中央政權を膺懲し、津浦、京漢の各鐵道沿線の主要地方を佔領す。目下我軍は指導的地位に立ち、華北各省の舊官吏をして完全に仁政を行はしめんとす。省以下各縣政府の各職員は、よく此の意旨を體得し、暫時舊來の規則に依り、忠實に縣政を行ひ治安を維持せんことを切望す。千萬違背すること勿れ。若し違背するあらんか、寸毫も假借すること

なし。

尙、各縣庶民は速に各自業務に従事し、苟も秩序を破壊し、不隱の言動を爲す者は、我軍は良民の仇敵と認め、嚴罰に處す。各官民等をして一體に遵奉せしむ。一般人士未だ週知し居らざるを恐れ、特に此に佈告をなす次第なり。

(二四)

宋總指揮助鑒佳酉電悉○密貴部奮勇抗戰至深欽佩後方醫院刻在通州希飭屬知照何應欽印

【語釋】

〔宋總指揮〕宋哲元氏を指す。〔助鑒〕官吏の宛名の下に附する語。御高覽を願ふ位の意。

〔佳〕電報の日附印九日。〔酉〕電報の月、又は時刻を示す語、此處にては時刻今の午後六時頃、自午後五時―至七時。〔悉〕承知す。〔○密〕「密」は密電（暗號電報）、○の所に符合を示す。〔至深欽佩〕至極感服す。〔刻在〕「刻……ニ在リ」目下……に在る。〔屬〕所屬、所屬部隊。〔飭〕「……ニ飭シ……セシム」「……ヲシテ……セシム」ト訓み、「命令して……せ

しむ」の意。「知照」承知する。「元」電報の日附印十三日。「印」打電者名の後に附す語、「印す」位の意。

【訓讀】

宋指揮助鑿佳酉ノ電悉ス〇密、貴部ノ奮勇抗戰至ツテ欽佩ヲ深クス。後方ノ醫院ハ刻通州ニ在リ、屬ニ飭シ知照セシメ（ラレンコトヲ）希ス。何應欽元印ス。

【譯文】

宋哲元總指揮殿 九日午後六時發電報閱了す。貴軍の奮勇抗戰感佩の至りに堪へず。後方の醫院は目下通州に在り。所屬部隊にその旨承知せしめられたし。何應欽十三日發。

(二五)

王軍長第一百十二師張師長〇密據報密雲軍隊紛雜紀律弛蕩着第一百十二師即行移駐昌平附近第百〇七師主力即遵前令移駐順義各從速整理待命對於軍紀尤須加意整飭以軍譽爲要何應欽印

【語釋】

〔王軍長〕王以哲軍長を指す。〔張師長〕張自忠師長を指す。〔據報〕報告に據ると、情報によると。〔紛雜〕紛岐雜多。〔弛蕩〕弛緩す。〔着〕「……セシム」「……スベシ」と訓み、命令詞。「仰」と略同義。〔從速〕「速ニ從ヒ」と訓み、速にの意。〔尤須〕「尤モ須ク……スベシ」と訓み、就中……すべしの意。〔整飭〕取締る、肅正する。〔爲要〕肝要である。

【訓讀】

王軍長第一百十二師張師長、〇密、報ニ據レバ密雲軍隊ハ紛雜、紀律弛蕩ス。第一百十二師ハ即（タダ）チニ昌平附近ニ移駐ヲ行ヒ、第百七師主力ハ即チニ前令ニ遵ヒ順義ニ移駐スベシ。各速ニ從ヒ整理シ命ヲ待テ。軍紀ニ對シテハ尤モ須ク意ヲ加ヘ整飭シ、以テ軍譽ヲ維スベシ。要ト爲ス。何應欽元印ス。

【譯文】

王軍長、第百十二師張師長宛、報告に據れば密雲駐屯部隊は紛岐雜多にして紀律弛緩す。第百十二師は直ちに昌平附近に移駐し、第百七師主力は直ちに前の命令に遵ひ順義に移駐すべし。

各部隊を速に整理し爾後の命を待つべし。軍紀に對しては、特に留意し、肅正し軍譽を保つべし。肝要なり。何應欽十三日發。

(二六)

沈師長克銑未電稱「奉令遵飭駐在豐潤之第三團附以騎兵山砲重迫擊砲輕機關槍各連編爲先遣支隊即日向平谷急進一二兩團距離較遠擬令篠晨跟進職部彈藥異常缺乏請飭補充」

【語釋】

〔沈師長克〕沈克師長の事、姓と名との間に官名を入れるは普通用ひられる形。〔銑〕電報の日附印、十六日。〔未〕未の刻、自午後一時至三時。〔遵飭〕「遵ヒテ……ニ飭ス」と訓み、上官の命に遵ひ屬に……を命令するの意。〔擬令〕「擬(マサ)ニ……ヲ令ス」。〔篠〕電報日附印、十七日。〔跟進〕隨行、追進。〔職部〕「職」とは自分の事を指す、「職部」とは本司令部位の意。

【訓讀】

沈師長克ノ銑未電ハ稱ス「令ヲ奉ジ遵ヒテ、豐潤駐在ノ第三團ニ附スルニ騎兵山砲重迫擊砲輕機關槍ヲ以テシ、編シテ先遣支隊ト爲シ、即日平谷ニ向ツテ急進ヲ飭ス。一二兩團ハ距離較(ヤヤ)遠ク、マサニ篠晨跟進ヲ令ス。職部ノ彈藥異常缺乏ス、補充ヲ飭サレンコトヲ請フ」……ト。

【譯文】

沈師長の十六日午後二時發電報に據れば「命に遵ひ、豐潤駐在の第三團に騎兵、山砲、重迫擊砲、輕機關銃の各中隊を附し、先遣支隊を編成せしめ、即日平谷に向つて急進を命ず。第一第二兩團は距離比較的遠きを以て、十七日早朝追進を命ず。本司令部彈藥異常に缺乏す、補充命令を發せられんことを請ふ」……と。

(二七)

徐軍長養酉電陳對古北口防務之意見

竊思冀境長城僅喜峯口古北口有大道可運輜重及重兵器其他各小口雖多皆山路崎嶇不能運動連合兵種縱敵步兵來襲以輸送困難最大限不過步兵一營而其步兵單獨作戰

能力遠不如我似無顧慮之必要所有兵力以集中喜峯古北兩口之道上爲宜查喜峯口方面宋部兵力十七團故能支持長久古北口方面有第二師五團二十五師損失後僅餘兩團可用合計不過七團右翼雖有東北軍兩三團作戰力弱寡不足恃古北口方面兵力似嫌薄弱就目前情勢第二師擔任正面防禦雖可無慮倘敵大舉來犯右翼潮河河面利於運動頗多顧慮擬再增加一師於古北口方面以厚實力再職所選第二陣地帶須兩師以上兵力方敷分配

【語釋】

〔徐軍長〕徐永昌軍長。〔養〕電報日附印、二十二日。〔酉〕酉の刻 自午後五時—至七時。
 〔冀境〕河北省。〔小口〕小さな入口、小さい道路。〔崎嶇〕道の險しき意。〔縱〕たとひ…するとも。〔不如〕「シカズ」と訓む 敵しない。〔似無〕「無キニ似タリ」と訓み 無きが如しの意。〔所有〕「アラユル」と訓む 全ての意。〔似嫌〕「嫌アルニ似タリ」と訓み ……の嫌がある。〔再〕「サラニ」と訓み、尙の意。〔須〕「モチフル」と訓み、用ふるの意。

〔方敷〕「ハジメテ…ニ敷(タ)ル」と訓み、十分であるの意。

【訓讀】

徐軍長養酉電シ、古北口ニ對スル防務ノ意見ヲ陳ス。

「竊ニ冀境長城ヲ思フニ、僅ニ喜峯口、古北口ニ大道有リ、輜重及ビ重兵器ヲ運ブ可シ。

其他各小口ハ多キト雖モ、皆山路崎嶇シ、兵種ヲ連合シ運動スル能ハハズ。縱(タト)ヘ敵兵來襲スルモ輸送困難ヲ以テ、最大限歩兵一營ニ過ギズ。而シテ其歩兵ノ單獨作戰能力ハ遠ク我ニ如カズ。顧慮ノ必要無キニ似タリ。所有(アラユル)兵力ヲ喜峯古北兩口ノ道上ニ集中スルヲ以テ宜ト爲ス。查スルニ喜峯口方面ノ宋部兵力ハ十七團ナリ。故ニ能ク支持スルコト長久ナリ。古北口方面ニ第二師五團有リ。二十五師ハ損失後僅ニ兩團ヲ餘シ、可用合計七團ニ過ギズ。右翼ニ東北軍兩三團有ルト雖モ、作戰力弱寡ニシテ恃ムニ足ラズ。古北口方面ノ兵力薄弱ノ嫌ヒアルニ似タリ。目前情勢ニ就テハ、第二師ガ正面防禦ヲ擔任セバ慮ヲ無クス可シト雖モ、倘(モ)シ敵大舉シ右翼ノ潮河ヲ來犯セバ、河面ハ運動ニ(於)利シ、頗ル顧慮ヲ多クス。マサニ(擬)再(サラ)ニ一師ヲ古北口方面ニ増加シ以テ實力ヲ厚クセント擬ス。再(サラ)ニ職ノ選

ブ所ノ第二陣地帯ハ兩師以上ノ兵力ヲ須(モチ)フレバ、方(ハジメ)テ分配ニ敷ル」ト。

【譯文】

徐軍長二十二日午後六時發電報を以て、古北口防衛に關する意見を陳ぶ。

河北省長城一帯は、僅に喜峯口、古北口間にのみ大道ありて、輜重及び重火器を運ぶを得る。其他各小道多きと雖も、皆山路崎嶇として、諸兵種を連合するを得ず。假に敵兵來襲するも、輸送困難の爲、最大限歩兵一個營に過ぎず。然してその歩兵の單獨作戰能力は、遠く我に及ばず。故に顧慮の要無し。依て全兵力を喜峯口、古北口の線に集中するを得策と爲す。思ふに、喜峯口方面の宋哲元部隊の兵力十七團有り、故に能く長きにわたり持久可能なり。古北口方面に第二師五ヶ團有り。第二十五師は損失後、僅に二個團を餘す耳にして、可用兵力合計七個團に過ぎず。右翼に東北軍二三個團有ると雖も、作戰力薄弱にして恃むに足らず。依つて古北口方面の兵力薄弱の形向あり。目下の情勢に於ては、第二師を以て正面防禦を擔當せば顧慮無しと雖も、若し敵大舉して、右翼潮河方面を來犯ば、河面は運動可能を以て、頗る憂慮あり。故に一個師を古北口方面に増援し、實力を増加せんとす。尙本軍長の選ぶ第二陣地帯は二個師以

上の兵力を使用せば兵力分配に十分なり」と。

(二八)

察省政府報稱「(1)據寶昌縣長巧電稱李海清部義勇軍二千餘分駐城外四鄉復有救國軍千餘正向寶昌移駐供應困難請示辦法 (2)沽源縣長巧電稱潰兵義勇軍四鄉駐滿現仍陸續開入 (3)多倫縣長巧電稱錫盟各旗傳箭徵兵用意不明 (4)張北縣長稱四十一軍在該縣招匪索要給養請示辦法如何應付請電示」

【語釋】

〔察省〕察哈爾省の略。〔巧〕電報日附印 十八日。〔四鄉〕東西南北の郷村、各郷村の意。

〔供應〕供給。〔潰兵〕敗殘兵。〔錫盟〕錫林郭勒盟の略。〔傳箭〕回章を廻すこと、受取りたる時は印を壓す。〔招匪〕土匪を招募す。〔索要〕強要する。

【訓讀】

察省政府ノ報ハ稱ス「(1)寶昌縣長ノ巧電ニ據レバ稱ス。李海清部ノ義勇軍二千餘ハ城外ノ四

郷ニ分駐ス。復(マタ)救國軍千餘有リ。正ニ寶昌ニ向ツテ移駐セントス。供應困難ナリ、辦法ヲ示サレンコトヲ請フ。(2)沽源縣長ノ巧電ハ稱ス。潰兵義勇軍ハ四郷ニ駐滿シ、現ナホ(仍)陸續開入ス。(3)多倫縣長巧電ハ稱ス。錫盟各旗ハ箭ヲ傳ヘ兵ヲ徵スモ、用意不明。(4)張北縣長ハ稱ス。四十一軍ハ該縣ニ在リテ匪ヲ招シ、給養ヲ索要ス。請フ、辦法ヲ示シ、如何ニ應付スベキヤ、電示ヲ請フ。」

【譯文】

察哈省政府の報告に據れば「(1)寶昌縣長の十八日發電に據れば、「李海清軍の義勇軍二千餘名は、寶昌縣城外各村落に分駐す。又救國軍千餘名は、目下寶昌縣に向つて移動中なり。供給困難なるを以て、對策を指示されんことを請ふ。」と。(2)沽源縣長の十八日發電に據れば、「義勇軍敗殘兵は、沽源縣城外各村落に移駐し、目下陸續と進入中なり」と。(3)多倫縣長の十八日發電に據れば、「錫林郭勒盟各旗縣は、回章を廻し、徵兵中なるも、その意圖不明なり」と。(4)張北縣長の報告に據れば、「第四十一軍は、該縣に於て土匪を招募中なり、尙四十一軍は當縣に對し、給養を強要す。對策を電報にて指示されんことを請ふ」と。

(二九)

第二十五師整理之概況

杜代師長聿明號未電稱「職師駐密雲整頓結果第一四六及第一五〇團平均每連尙有戰鬥員近百名第一四五及第一四七團平均每連僅餘戰鬥員三四十名刻已由職師輜重營在徐州募得新兵一千一百名不日即可運密補充刻下各團在石匣密雲間之黃各莊南北石駱駝之線一面構築陣地一面加緊訓練詳情擬派職師參謀長李鈞面陳……」

【語釋】

〔杜代師長聿明〕杜聿明代理師長。〔號〕電報日附印、二十日。〔未〕未の刻、自午後一時至三時。〔職師〕自分の師團を指す。〔每連〕一連につき。〔加緊〕嚴格に加へる。〔詳情〕詳細なる情況。〔面陳〕直接申上げる。

【訓讀】

第二十五師整理ノ概況

杜代師長聿明ノ號未ノ電ハ稱ス、「職師ハ密雲ニ駐シ、第一四六及ビ第一五〇團ヲ整頓結果スルニ、平均毎連尙戰鬥員百名近ク有リ。第一四五及第一四七團ハ平均毎連僅ニ戰鬥員三四十名ヲ餘ス。刻已ニ職師輜重營ニ由リ徐州ニ在リテ、新兵一千一百名ヲ募得ス。不日即チ密ニ運ビ補充ス可シ。刻下各團ハ石匣、密雲間ノ黃各莊、南北石駱駝ノ線ニ在リテ一面陣地ヲ構築シ、一面訓練ヲ加緊ス。詳情ハマサ（擬）ニ職師參謀長李鈞ヲ派シ面陳セント擬ス。」

【譯文】

第二十五師整理概況

杜聿明代理師長の二十日午後二時發電報に據れば、「本師は密雲に駐屯し、第四百十團及び第五百十團を整理するにその結果、一個連につき、尙戰鬥員平均百名近くあり。第四百十五團及び第四百十七團は一個連につき、戰鬥員三四十名を残すに過ぎず。目下已に本師輜重營が、徐州に於て新兵千百名を募集し、不日密雲に輸送し補充す。目下各團は、石匣—密雲間の黃各莊、南北石駱駝、北石駱駝の線に於て、陣地を構築すると共に、嚴格なる訓練實施中なり。餘の詳細情況は、本師參謀長李鈞を派遣し、直接報告せしむ」と。

(三〇)

馮治安師長篠未電報告「董家口侵入之敵今早七時以來屢以礮火向我南北團汀關莊一帶陣地猛烈轟擊掩護其步兵渡河刻仍在激戰中請速飭蕭師接替馬蘭關防務以便抽調隊伍以資應援……」

【語釋】

〔篠〕電報日附印。十七日。〔未〕未の刻、自午後一時至三時。〔屢〕しばしば。〔南北團汀〕南團汀及び北團汀。地名。〔刻仍在〕刻ナホ（仍）……ニ在リ。〔接替〕交替。〔抽調〕轉用する。〔以便〕以て……の助となす。〔以資〕と同じ。

【訓讀】

馮治安師長ノ篠未電ノ報告「董家口侵入ノ敵ハ今早七時以來、屢（シバシバ）礮火ヲ以テ我南北團汀、關莊一帶ノ陣地ニ向ツテ、猛烈ニ轟擊シ、其步兵ノ渡河ヲ掩護シ、刻仍（ナホ）激戰中ニ在リ。速ニ蕭師ニ飭シ、馬蘭關ノ防務ヲ接替シ、以テ隊伍ヲ抽調スルニ便シ、以テ應援ニ

資セラレンコトヲ……」。

【譯文】

馮治安師長の十七日午後二時發電報報告「董家口侵入の敵は今朝七時以來、しばし礮火を以て、我南團汀、北團汀、關莊一帶の陣地向つて、猛烈なる射撃を行ひ、歩兵の渡河を掩護し目下激戰中なり。速に蕭師團に命じ、馬蘭關の防衛を交替し、以て本師團の兵力轉用に資せしめられたし」と。

【附錄】

(一) 電報日附用韻字

電報は韻字を用ひて日を記す、十四日以前は普通「上平、下平」を用ひ、十五日以後は「上聲去聲、入聲」を用ふ。惟だ三十日陷の字は軍隊にては之を避け卅字を以て代ふ。三十一日は韻字無き故「世、引」の字を用ふ。

韻目	期日	上平	下平	上聲	去聲	入聲
一	一	東	先	董	送	屋
二	二	冬	蕭	腫	宋	沃
三	三	江	肴	講	絳	覺
四	四	支	豪	紙	寘	質
五	五	微	歌	尾	未	物
六	六	魚	麻	語	御	月
七	七	虞	庚	麌	遇	曷
八	八	齊	庚	齊	霽	黠
九	九	佳	青	蟹	泰	屑
十	十	灰	蒸	賄	卦	藥
十一	十一	眞	尤	軫	隊	陌
十二	十二	文	侵	吻	震	錫
十三	十三	元	覃	阮	問	職
十四	十四	寒	鹽	旱	願	緝
十五	十五	刪	咸	潛	翰	合
十六	十六			銑	諫	葉
十七	十七			篠	霰	洽
十八	十八			巧	嘯	
十九	十九			皓	効	
二十	二十			哿	號	
二十一	二十一			馬	箇	
二十二	二十二			養	禡	
二十三	二十三			梗	漾	
二十四	二十四			迥	敬	
二十五	二十五			有	徑	
二十六	二十六			寢	宥	
二十七	二十七			感	沁	
二十八	二十八			儉	勘	
二十九	二十九			賺	豔	
三十	三十				陷(卅)	
三十一	三十一				(世)(引)	

(二) 時刻及電報月名通用代字

子 自午後十一時至午前一時

一月

		省 名	別 名
北	河	燕	冀
西	江	贛	
北	湖	鄂	
東	山	齊	魯
肅	甘	隴	甘
西	廣	桂	
蘇	江	蘇	吳
江	浙	越	浙
南	湖	湘	
西	山	晉	
川	四	蜀	
南	雲	滇	
徽	安	皖	
建	福	閩	
南	河	汴	豫
西	陝	秦	
東	廣	粵	
洲	貴	黔	
疆	新	康	新
爾	哈	察	察
遠	綏	綏	
邊	川	邊	川
古	蒙	蒙	外
海	青	海	青
藏	西	藏	

(三) 各省別名表

丑 自午前一時至三時
 寅 自午前三時至五時
 卯 自午前五時至七時
 辰 自午前七時至九時
 巳 自午前九時至十一時
 午 自午前十一時至午後一時
 未 自午後一時至三時
 申 自午後三時至五時
 酉 自午後五時至七時
 戌 自午後七時至九時
 亥 自午後九時至十一時

二 月
 三 月
 四 月
 五 月
 六 月
 七 月
 八 月
 九 月
 十 月
 十 月
 十 月
 十二 月

昭和十八年五月五日 第一版印刷

昭和十八年五月十日 第一版發行

不許複製
版權所有

軍事語學
華語篇
第一卷

定價 ¥.60

著者 陸軍大學校將校集會所

發行者 株式會社 雄風館書房
代表者 鶴殿龍雄
東京市本郷區弓町二丁目一番地

印刷者 吉原良三
東京市牛込區早稻田鶴卷町百七
日本印刷文化協會會員番號
(東東第七號)

發行所

株式會社雄風館書房
會員番號 137503
東京市本郷區弓町二丁目一番地
振替東京五五六八四番
電話小石川(85)一九一一番

印刷・株式會社康文社印刷所



